

第9次高松市行財政改革計画

令和6～7年度実績報告書

令和8年8月
高 松 市

目 次

I 総論

- 1 第9次高松市行財政改革計画の取組方針と推進体制 ……1
- 2 目標値及び実績値 ……1
 - (1) 財政指標
 - (2) 指標
 - (3) 取組項目ごとの歳入増加額・歳出削減額(令和7年度)

II 各論

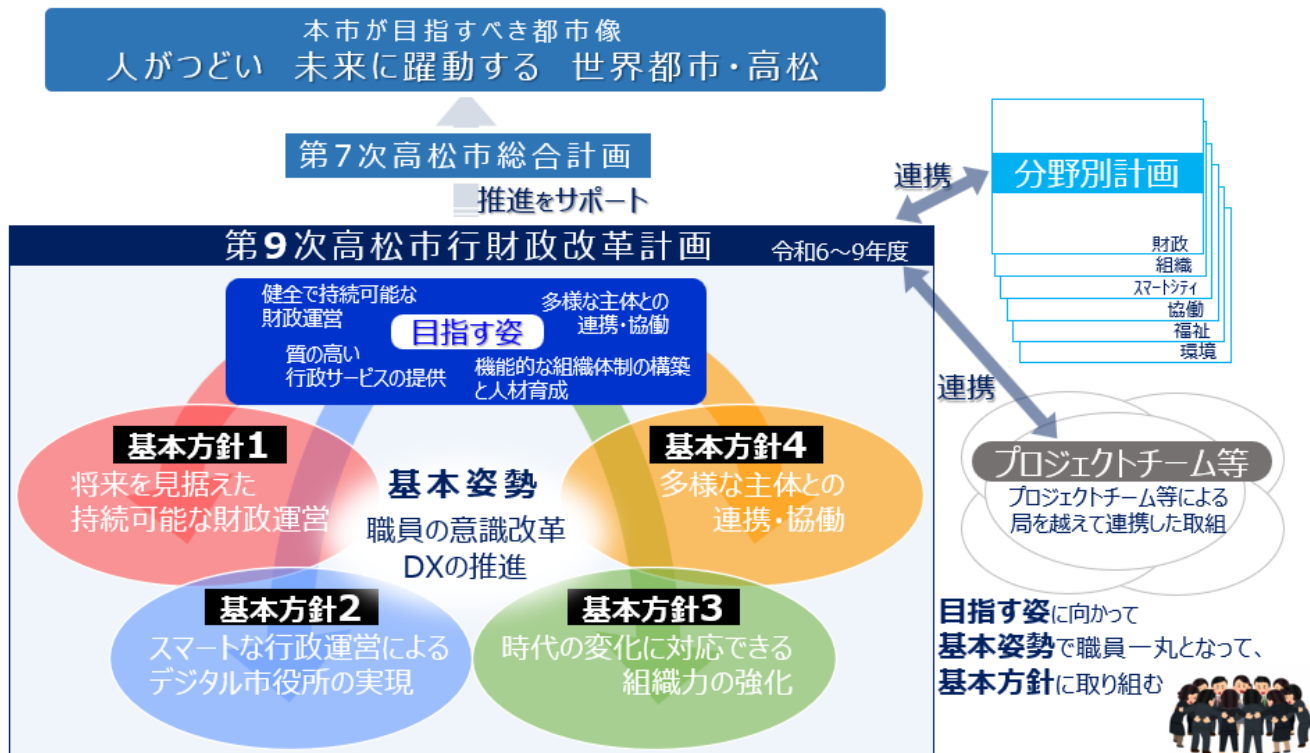
- 1 局進行管理 ……5
 - (1) 令和7年度取組状況及び目標達成度(局別)
- 2 局進行管理体制 ……6
- 3 プロジェクト進行管理体制 ……39
- 4 外部評価による事業の見直し状況 ……46

III その他

- 1 計画に変更のあった実施項目 ……47
 - (1) 計画に追加した実施項目
 - (2) 取組内容等を変更した実施項目
 - (3) 中止した実施項目

I 総論

1 第9次高松市行財政改革計画の基本方針と推進体制



2 目標値及び実績値

基本方針1 将来を見据えた持続可能な財政運営

財政指標	令和6年度決算値		実績値 (令和7年度決算見込)
実質公債費比率 (目標値) ※低い方が望ましい指標	高松市	中核市平均	
7.0%	7.0% (令和5年度6.4%)	5.4% (令和5年度5.5%)	7.2%

元利償還金などに係る基準財政需要額算入額の減などにより、前年度比で0.2ポイント上昇しています。

実績公債費比率とは…

毎年度の経常的な収入を実質的な借入金支払(公債費や公営企業繰出金など)に充てている割合を示します。借入金(市債)の発行に係る基準指標であり、18.0%以上になると借入に当たり国の許可が必要となります。本市の早期健全化基準は25%で、それ以上となった場合は、財政健全化計画の策定が義務付けられています。

※R5までは前計画の目標9.0%を記載

財政指標	令和6年度決算値		実績値 (令和7年度決算見込)
市債残高 (目標値) ※臨時財政対策債を除く。	高松市	中核市平均	
1,067億円	1,026億円 (令和5年度 1,064億円)	1,303 億円 (令和5年度 1,333億円)	1,027 億円

(億円)

年度	実績	目標
3年度	1,024	1,024
4年度	1,007	1,007
5年度	1,064	1,064
6年度	1,026	1,026
7年度	1,027	1,027

■ 実績 - - - 目標

市債の借入額(103.6 億円)が、元金償還額(101.6 億円)を上回ったため、前年度比約 2.0 億円の増(+0.2%)となっています。

※令和7年度市債残高 1,027.4 億円
(四捨五入により7年度実績値は 1,027 億円)
令和6年度市債残高 1,025.5 億円
(四捨五入により6年度実績値は 1,026 億円)

基本方針 2 スマートな行政運営によるデジタル市役所の実現

指標	目標	令和7年度 目標値	令和7年度 実績値
たかまつデジタル市役所のできる オンライン手続数	160件	140件	157件
(令和7年度 取組状況) DX人材育成のための研修等の実施や、庁内各課からの各種ツールの利用に関する問合せに対する継続的な支援によって、LGWAN 対応の自治体向け申込みアンケートフォームやぴったりサービスの活用が図られ、目標を達成することができました。 (令和7年度に追加した手続) ・高松市合併20周年記念 2026年高松市二十歳のつどい 事前登録用フォーム ・妊婦支援給付金(出産後)申請フォーム ・要介護認定に係る介護保険証窓口受け取り専用フォーム 等 ※ 社会全体のデジタル化進展に伴い、オンライン手続需要の増加を反映するため、令和7年度の実績を取りまとめる段階で目標値を見直しました。 (変更前の目標値: 目標135件 令和7年度目標値125件)			

指標	目標	令和7年度 目標値	令和7年度 実績値
年間 360 時間を超える 時間外勤務を行う職員数の割合 ※医師、派遣職員を除く。災害対応等の臨時的 用務を含む。	5.5%	5.0%	6.4%
(令和7年度 取組状況) 働き方改革につながる各種取組(定期的・継続的な情報発信や時差出勤制度・テレワークの推進等)を実施しました。 また、次期スマイルプランについては、第2次高松市職員活躍推進行動計画及び第4次高松市特定事業主行動計画を統合し、新たな高松市特定事業主行動計画(計画期間:令和8年度～12年度)の策定に向けた検討・意思決定等の手続きを進めました。 ※ 高松市特定事業主行動計画に、スマイルプランの内容を盛り込んだことに伴い、取組内容及び年度ごとの目標値について整合性を図るため、令和7年度の実績を取りまとめる段階で目標値を見直しました。 (変更前の目標値:目標0% 令和7年度目標値 2.0%)			

指標	目標	令和7年度 目標値	令和7年度 実績値
多様な主体との連携協力事業数	275事業	263事業	320事業
(令和7年度 取組状況) 「大学・地域共創プラットフォーム香川」や連携協定を活用しながら、企業や大学等との連携事業数を増加させることができました。引き続き、上記の取組を活用するとともに、東京事務所の活動強化等により、東京圏を中心とした大都市圏の企業や大学等との連携強化を図ります。 (令和7年度 新規連携協力事業) ・中小企業経営力強化支援事業 ・子育て支援総合情報発信事業 ・BLE タグを使った地域共助見守りシステム事業 等			

3 実施項目ごとの歳入増加額・歳出削減額(令和7年度)

基本方針及び実施項目	実施 項目数	歳入増加額及び 歳出削減額実績(千円)	
		目標	実績
基本方針1 将来を見据えた持続可能な財政基盤の確立			
(1) 自主財源の充実・強化	7	230,200	236,667
(2) 財源の重点的・効果的な配分	10	—	—
(全局共通取組項目)全庁的な事務事業の見直し	—	—	—
(全局共通取組項目)全庁的な補助金等の見直し	—	—	—
(3) ファシリティマネジメントの推進	10	510	1,784
基本方針2 スマートな行政運営によるデジタル市役所の実現			
(1) 利用者目線の DX 化・業務改革	5	—	—
(全局共通取組項目)ICT 等を活用した業務の効率化	—	—	4,725
(2) 質の高いサービスの提供	8	10,347	15,851
(3) 効果的な行政情報の発信	3	—	—
(全局共通取組項目)シティプロモーションの推進	—	—	—
(全局共通取組項目)ホームページの充実	—	—	—
(全局共通取組項目)SNS 等による戦略的広報発信	—	—	—
(4) 信頼できる透明性の高い行政運営	3	—	—
(全局共通取組項目)監査結果に対する未措置項目の解消	—	—	—
基本方針3 時代の変化に対応できる組織力の強化			
(1) 機能的な組織体制の構築	3	—	—
(2) 将来を見据えた人財の確保・育成	5	—	—
(全局共通取組項目)協働推進意識の向上	—	—	—
(3) 働き方改革の推進	3	—	—
(全局共通取組項目)時間外勤務の縮減	—	—	—
基本方針4 多様な主体との連携・協働			
(1) 市民参画・協働の推進	8	—	—
(2) 多様な主体との連携強化	2	—	—
(3) 民間活力・アウトソーシングの活用	6	—	—
合 計	73	241,057	259,027

※プロジェクトチームによる取組項目を除く。

Ⅱ 各論

1 局進行管理

(1) 令和7年度取組状況及び目標達成度(局別)

取組状況

a 実施済
b 着手済
c 未着手
d 中止
e 未到来

目標達成度

A:80%~100%
B:60%~80%未満
C:60%未満

局 名	実 施 項目数	取組状況					目標達成度		
		a	b	c	d	e	A	B	C
政策局	5	5					5		
総務局	22	21	1				20	2	
財政局	11	10		1			9	1	
市民局	3	3					2		1
健康福祉局	6	6					5	1	
環境局	2	2					1		1
創造都市推進局	7	6	1				5	2	
都市整備局	10	8	2				9	1	
消防局	4	1	3				3		1
病院局	2	2					2		
教育局	4	3	1				3		1
監査委員事務局	1	1					1		
合 計	77 ①	68	8	1			65 ②	7	4

※局をまたぐ複数課による実施項目あり。
※プロジェクトチームによる取組項目を除く。

令和7年度全体の達成度(②／①):84.4%

各実施項目の取組状況については、別紙 取組状況一覧表に掲載しています。

2 局進行管理制

政策局

令和7年度の取組実績評価(局評価)

(実施項目数)	5 件		
(取組状況)		→目標達成度	
実施済	5 件	※ A:80%~100%以上	5 件
着手済	件	※ B:60%~80%未満	件
未着手	件	C:60%未満	件
中止	件		件
未到来	件		件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】※の割合	100 %

特に成果を挙げた実施項目

基本方針・項目分類	実施内容(概要)	実績等
2-(3)	シティプロモーション推進ビジョンやロゴマーク、シティプロモーション動画等の効果的なPRを行うとともに、大阪・関西万博への出展、TGC 香川 2025などへの参加により、本市の知名度向上及びシビックプライドの醸成を図りました。	広聴広報・シティプロモーション課のInstagramのフォロワーの増加数 約3千人
実施項目	シティプロモーションの推進	

目標達成度がかなり下回っている(60%未満)実施項目

基本方針・項目分類	下回った理由
—	—
実施項目	—
—	今後の取組み
	—

取組実績等

成果

- 新たな金融機関と仲介業務契約を締結したほか、企業への積極的なアプローチを行った結果、令和7年度の企業版ふるさと納税が過去最高額となり、多様な財源の確保を図りました。

課題

- 人口減少・少子超高齢社会の中、地域活性化のため、シビックプライドの醸成を図り、若者の地元定着を促進する必要があります。また、更なる関係人口や移住・定住者の増加に向けた取組も必要になります。
- 企業版ふるさと納税の更なる活用を促進するために、本市の価値や魅力を高め、本市に対する信頼や好感を獲得する必要があります。積極的にシティプロモーションを推進することが重要です。また、これまでの「待ち」の姿勢ではなく、制度の積極的なPRが必要です。

今後の取組み

- 関係人口や本市への移住者の増加を図るため、シティプロモーションの取組を積極的に進めていくほか、若者同士の交流機会の創出や若者のUターン就職を促進するなど、若者に選ばれるまちづくりに向けた事業を展開していきます。
- 国の「地域活性化起業人の受入制度」を活用し、民間事業者から人材を受け入れ、本市の知名度向上及びシビックプライドの醸成を更に推進します。
- 企業版ふるさと納税について、東京事務所を活用した企業への積極的なアプローチや他市の成功事例を分析し、新たな取組を検討します。

政策局

全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-①	実施内容(概要) ● 第2期まちづくりプランの重点取組対象事業の調整等において、事業の必要性や効果等を検証するとともに、庁内横断的に、各局の課題を共有し、課題解決のための最適な手段の検討等を行うため、「まちづくり政策ミーティング」を実施するなど、各局の課題の洗い出しや事業の見直しに取り組みました。
実施項目 全庁的な事務事業の見直し	
基本方針・項目分類 1-(2)-②	実施内容(概要) ● 政策課において、テレワーク移住補助金の見直しを行い、令和8年度からの廃止を決定しました。
実施項目 全庁的な補助金等の見直し	
基本方針・項目分類 2-(1)-③	実施内容(概要) ● 政策課において、市民満足度調査に対する回答をオンラインでの回答を促進することで、結果の取りまとめが迅速化・効率化を図ることができました。
実施項目 ICT等を活用した業務の効率化	
基本方針・項目分類 2-(3)-①	実施内容(概要) ● 政策課東京事務所において、東京圏でのプロモーション活動や官民連携を図りながら、組織横断的・分野横断的に本市のブランドイメージの向上につながる情報発信を行いました。 ● 『TGC 香川 2025』へ参画し、市民モデルの募集やステージ上でのロゴマークのPR等を行いました。 ● 大阪・関西万博において、自治体催事や神戸市催事に参画し、本市の魅力を国内外にPRしました。 ● 高松市シティプロモーション推進ビジョンとロゴマークに関するアドバイザー業務委託を行い、戦略的なPRの方向性について整理しました。 ● シティプロモーション動画を更に活用するため、インフルエンサーを活用し、高松の魅力について発信しました。 ● シビックプライドを醸成し、本市の魅力を発信する人材を育成するため、市民参画の一環として今年度も人的ネットワークの運営を行いました。
実施項目 シティプロモーションの推進	
基本方針・項目分類 2-(3)-②	実施内容(概要) ● 各所属において、利用者が分かりやすいホームページとなるよう、更新を行いました。 ● 令和9年度末を目途に、市公式ホームページのリニューアルを予定しており、現状のホームページの課題を抽出し、その課題に対して、現在のデジタル技術を活用した対策方針を固め、業者選定のための仕様書を作成しました。
実施項目 ホームページの充実	
基本方針・項目分類 2-(3)-③	実施内容(概要) ● 政策課及び広聴広報・シティプロモーション課において、各種事業の実施に際し、高松市シティプロモーションプロデューサーからアドバイスをいただき、効果的な事業展開や情報発信となるよう工夫を行いました。 ● 広聴広報・シティプロモーション課において、LINEやXなどのSNSを効果的に活用し、市政情報を始め、歴史や文化、おすすめスポットなどの市の魅力を紹介し、市民のシビックプライドの醸成に取り組みしました。
実施項目 SNS等による戦略的広報発信	
基本方針・項目分類 2-(4)-①	実施内容(概要) ● 政策課において、令和6年度の監査において未措置となっていた項目に着手し、所管施設の使用料の見直しに関する算定を適切に行うとともに、ホームページの情報の更新を行うことで、利用促進を図りました。
実施項目 監査結果に対する未措置項目の解消	
基本方針・項目分類 3-(2)-①	実施内容(概要) ● 各所属において、所属担当協働推進を配置し、協働推進員の役割について理解を深めるとともに、政策課において、自治基本条例の職員向け研修を全職員を対象に実施し、自治の基本原則の1つである「協働の原則」の意識啓発を図りました。
実施項目 協働推進意識の向上	
基本方針・項目分類 3-(3)-①	実施内容(概要) ● 各所属において、業務の効率化、改善に取り組むなど、時間外勤務の縮減に努めました。 ● 政策課において、令和6年度と比較して、時間外勤務数が約12%減少しました。
実施項目 時間外勤務の縮減	

総務局

令和7年度の取組実績評価(局評価)

(実施項目数)	22 件		
(取組状況)		→目標達成度	
実施済	21 件	※ A:80%~100%以上	20 件
着手済	1 件	※ B:60%~80%未満	2 件
未着手	件	C:60%未満	件
中止	件		件
未到来	件		件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】※の割合	100 %

特に成果を挙げた実施項目

基本方針・項目分類	実施内容(概要)	実績等
2-(1)	マイナンバーカードをはじめとするデジタル技術を活用するとともに、行政手続棚卸調査により把握した課題の解消を進め、オンラインで申請できる行政手続の拡充に取り組みました。また、職員向けのDX人材育成研修を実施するとともに、庁内各課に対して、LGWAN対応の自治体向け申込み・アンケートフォームや「ぴったリサービス」などの各種ツールの利用に関する相談対応・操作支援を継続して行い、庁内におけるデジタルツールの活用促進と、市民サービスの利便性向上を図りました。	たかまつデジタル市役所のできるオンライン手続数 157件 (目標:140件)
実施項目		
行政手続のオンライン化		

目標達成度がかなり下回っている(60%未満)実施項目

基本方針・項目分類	下回った理由
—	
実施項目	—
	今後の取組み
—	—

取組実績等

成果
● インスタグラム等を活用し、インターンシップの募集を行った結果、多くの学生に参加いただいたほか、より多くの方に採用試験を受験いただけるよう見直しを行ったこと等により、必要となる職員数を確保しました。
課題
● 全国の自治体での傾向と同様、土木職、電気職及び機械職など、特に技術職の人材確保が課題となっており、応募者数を増やすための環境づくりや、入庁前後のギャップを防ぐために、本市の業務内容や職場環境などを事前によく理解した上で、本市への就職を決断していただくことが重要となります。
今後の取組み
● 令和8年度から、技術職の採用試験に早期募集枠を設け、受験機会を増やすほか、リクレーター制度を導入し、若手職員の早期離職の防止に努めてまいります。また、職場環境整備、職員研修、人事制度、人事評価制度などを通して、体系的な人材育成を行っていくことで、地域や行政の課題に、的確かつ柔軟に対応できる職員の育成に努めてまいります。

総務局

全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-①	実施内容(概要) ● 総務課において、行政手続きのデジタル化の推進や事務の効率化を図るため、公印の押印見直しを行い、公印を押印する文書の明確化しました。
実施項目 全庁的な 事務事業の見直し	
基本方針・項目分類 1-(2)-②	実施内容(概要) ● 見直しすべき補助金等は、ありませんでした。
実施項目 全庁的な 補助金等の見直し	
基本方針・項目分類 2-(1)-③	実施内容(概要) ● 総務課において、議案書などの議会資料の庁内への配布を電子化し、業務の効率化と紙の削減を行いました。 ● 総務課において、公告式の電子化を行い、業務の効率化と紙の削減を行いました。 ● 人事課において、事務事業評価に係る、行政評価システムへの人件費入力及びホームページ公表用データ作成にRPAを活用し、作業の効率化を図ることができました。 ● 人事課において、育休中職員の香川県市町村職員共済組合等掛金の納付方法にLGWAN対応の自治体向け申込みアンケートフォームのオンライン決済を追加しました。これにより、納付書の郵送代が削減できました。(効果額 25千円/7年度) ● デジタル戦略課において、WEB会議・テレワーク端末を積極的に活用しました。 ● デジタル戦略課において、ビジネスチャットツールとして自治体専用ビジネスチャットツールを積極的に活用しました。 ● デジタル戦略課において、アンケートツールとしてLGWAN対応の自治体向け申込みアンケートフォームを積極的に活用しました。 ● デジタル戦略課において、課内会議では、原則として、ペーパーレス化を進め、無線LANを活用した会議の運営を行いました。 ● デジタル戦略課において、国勢調査に当たり、市公式LINEを活用した連絡手段を新たに導入し、調査員と指導員間の円滑な情報共有を図りました。 ● 情報マネジメント課において、自治体専用ビジネスチャット、WEB会議システムやChatGPTの利用を推進しました。
ICT等を活用した 業務の効率化	
基本方針・項目分類 2-(3)-①	実施内容(概要) ● 人事課において、新規採用職員第Ⅰ部研修及び新規採用職員第Ⅱ部職員研修で、本市のシティプロモーションについて研修を行いました。 ● 人事課において、「郷土・高松を知る研修」で、本市職員のシビックプライドの醸成に資するよう研修を行いました。
実施項目 シティプロモーション の推進	
基本方針・項目分類 2-(3)-②	実施内容(概要) ● 行政改革推進室において、高松市公式ホームページ再構築プロジェクトチームに参加し、本市の公式ホームページ「もっと高松」のリニューアルに向けた仕様の検討や意向調査を行いました。
実施項目 ホームページの充実	
基本方針・項目分類 2-(3)-③	実施内容(概要) ● 人事課において、職員採用試験等の情報についてInstagramを活用した広報を行い、公務員志望の学生のほか、広く市民に情報を発信できるよう工夫を行いました。 ● 危機管理課において、市公式LINEから、たかまつマイセーフティマップにアクセスしやすいよう、レイアウト変更を行いました。
実施項目 SNS等による 戦略的広報発信	

基本方針・項目分類 2-(4)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 平成28年度の監査において、総務局への意見とされていた「内部統制としての包括外部監査制度の活用等」について、法令等違反や不適正な職務執行による事務の誤りなどのリスクについて、各所属が特定、分析、評価及び対応を行う体制を整備するとともに、包括外部監査結果において明らかにされたりリスクへの対応等についても、弁護士資格を有する職員が定期的に各部局に出向いて相談に応じる取組の中で、その是正に向けた支援に努めました。 ● 行政改革推進室において、平成24年度、令和4年度及び6年度の包括外部監査で未措置となっていた項目に着手し、改善報告を提出しました。(10件) ● 人事課において、平成28年度及び令和6年度の定期監査及び行政監査で未措置となっていた項目に着手し、改善報告を提出しました。(3件)
監査結果に対する未措置項目の解消	
基本方針・項目分類 3-(2)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 行政改革推進室において、地域の課題を解決する手法の1つである内閣府の提案募集方式の活用を推進するため、協働推進員と地域コミュニティ協議会の職員を対象にオンライン研修を実施し、地域との協働の意識を向上させることができました。
協働推進意識の向上	● 人事課において、新規採用職員第Ⅰ部研修で、「地域コミュニティ・市民協働の推進について」研修を行いました。 ● 人事課において、一般職員第Ⅰ部研修で、「地域コミュニティ活動について」研修を行いました。
基本方針・項目分類 3-(3)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 各課において、業務の効率化を進めるとともに、ノー残業デーの励行により、時間外勤務の縮減に努めました。
時間外勤務の縮減	● 月45時間を超える見込みのある職員に対して、管理職が月途中でヒアリングを行うことで業務進捗等を確認し、時間外勤務の縮減に努めました。 ● 人事課において、月100時間を超えた職員のいる所属について、人事課長による所属長へのヒアリングを半期ごとに行い、問題点の把握や業務改善等に係る助言を行い、時間外勤務の縮減に努めました。

財政局

令和7年度の取組実績評価(局評価)

(実施項目数)	11 件		
(取組状況)		→目標達成度)	
実施済	10 件	※ A:80%~100%以上	9 件
着手済	1 件	※ B:60%~80%未満	1 件
未着手	1 件	C:60%未満	1 件
中止	1 件		1 件
未到来	1 件		1 件
【実施・着手率】	90 %	【達成率】※の割合	100 %

特に成果を挙げた実施項目

基本方針・項目分類	実施内容(概要)	実績等
1-(1)	8件の未利用地について、一般競争入札、先着順及び随意契約による売払処分を行った結果、効果目標額を達成することができました。	
実施項目		
未利用地等の売払い		効果額 71,164千円 (目標:30,000千円)

目標達成度がかなり下回っている(60%未満)実施項目

基本方針・項目分類	下回った理由
—	
実施項目	—
—	今後の取組み
	—

取組実績等

成果
● 課題となっている非強制徴収債権の収納率向上のため、令和7年10月より裁判手続等の専門的知識とノウハウを持つ弁護士への債権包括外部委託を開始したことによる収納率が向上しました。
課題
● ふるさと高松応援寄附金については、令和5年度の制度改正に伴い、返礼品代を据え置いたまま、寄附金額を引き上げたことにより寄附件数が減少しています。しかしながら、新たなポータルサイトへの掲載や新規返礼品の開発、イベントへの出展などに取り組むことにより、寄附金額は前年度を上回りました。
今後の取組み
● 今後においても、返礼品の新規開拓や見直し、また、クラウドファンディングの活用や、寄附金の使途についても工夫を図るなど、ふるさと高松応援寄附事業の魅力を高めるとともに、より多くの人に情報を発信するため、広報やイベントへの出展などのプロモーション活動を強化していきます。

財政局

全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 各所属において、予算編成過程や事務実施の段階で、事業の必要性や効果等を検証するとともに、経費の削減・抑制に努めるなど、事務事業の見直しに取り組みました。
全庁的な 事務事業の見直し	
基本方針・項目分類 1-(2)-②	実施内容(概要)
実施項目	● 財政課において、「高松市補助金等交付システム見直し基準」及び「高松市補助金等の見直し方針」に基づき必要性や成果等について、改めて点検し、終期(周期)の設定、縮小、廃止、統合などを検討するほか、外部評価の結果を踏まえた見直しを実施するなど、より一層の適正化に努めました。
全庁的な 補助金等の見直し	
基本方針・項目分類 2-(1)-③	実施内容(概要)
実施項目	● 財政課において、リスクマネジメント会議での自治体専用ビジネスチャットツールの活用や、課内での業務依頼をエクセルにて管理するなど、業務の効率化を推進しました。
ICT等を活用した 業務の効率化	● 契約監理課技術検査室において、公共工事の受発注者間で発生する打合せ簿等の工事書類やデータの共有、提出、決裁をインターネット上で行う情報共有システムの試行運用を継続し、受発注者間のコミュニケーションの円滑化、工事書類の処理の迅速化及び監督検査業務の効率化を図りました。 ● 納税課において、催告書送付や預貯金調査結果等の大量な記事入力をRPAで行い、業務の効率化を図りました。また、預貯金調査を紙媒体で行っていましたが、民間のシステムを利用し、一部をデータのやり取りにより行いました。
基本方針・項目分類 2-(3)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 納税課において、ふるさと納税イベントに出展した際、本市の特産品や観光について情報発信を行いました。
シティプロモーション の推進	
基本方針・項目分類 2-(3)-②	実施内容(概要)
実施項目	● 財政課において、予算編成状況の公開など、予算編成の見える化を行い、市民に広く理解いただける予算編成になるよう努めました。
ホームページの充実	● 契約監理課において、契約制度の見直し等について、常に新しい内容を掲載するとともに、入札情報及び結果についても、その都度、掲載し情報を提供しました。 ● 市民税課において、「税制改正について」のページで、税制改正などによる主な改正点をわかりやすく周知するなど、効果的な情報提供に努めました。
基本方針・項目分類 2-(3)-③	実施内容(概要)
実施項目	● 納税課において、本市のふるさと納税について、Instagramでの広報を行う等、情報発信を行いました。
SNS等による 戦略的広報発信	● 市民税課において、たかまつムービーチャンネルを活用し、税に対する周知、啓発を行いました。また、市の公式SNS(Facebook、LINE、X)を活用して、確定申告におけるe-Taxの推進を図りました。
基本方針・項目分類 2-(4)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 契約監理課において、令和3年度包括外部監査結果において意見があったプロポーザルに関する項目について、「高松市プロポーザル方式ガイドライン」を策定し、改善措置を講じました。
監査結果に対する 未措置項目の解消	● 財産経営課において、平成13年度包括外部監査で未措置となっていた項目について着手し、本庁舎における維持管理のコストダウン及び施設環境の改善を実施するなど適切な措置を実施しました。
基本方針・項目分類 3-(2)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 財政課において、研修への参加や、研修内容の職場内周知などを積極的に行いました。
協働推進意識の向上	
基本方針・項目分類 3-(3)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 財政課において、時間外勤務時間の見える化など、時間外勤務の縮減に積極的に行いました。
時間外勤務の縮減	● 財産経営課において、ノー残業デーの設定及び時差出勤の活用により時間外勤務の縮減に努め、結果として、令和6年度実績より時間外勤務時間数を17時間削減しました。

市民局

令和7年度の実績評価(局評価)

(実施項目数)	3 件		
(取組状況)		→目標達成度	
実施済	3 件	※ A:80%~100%以上	2 件
着手済	件	※ B:60%~80%未満	件
未着手	件	C:60%未満	1 件
中止	件		件
未到来	件		件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】※の割合	66 %

特に成果を挙げた実施項目

基本方針・項目分類	実施内容(概要)	実績等
3-(2)	所属担当及び地域担当協働推進員を対象とした研修を各2回、市職員を対象とした協働の基礎となる研修を実施しました。	協働意識向上のための研修参加者の研修理解度(5段階)平均 4.0 (目標:4.2)
実施項目		
協働推進意識の向上		
基本方針・項目分類	実施内容(概要)	実績等
4-(1)	各地域において、地域の特性を生かした自主的・自立的なまちづくり活動を行うことができるよう、地域まちづくり交付金を交付したほか、(一社)高松市コミュニティ連合会と連携して地域コミュニティ協議会の人材育成、交流が図られるよう研修や交流会を実施し、年間を通して605人(うちオンライン参加209人)の参加がありました。	(一社)高松市コミュニティ連合会と連携して実施する地域コミュニティ人材育成研修の参加者数 605人 (目標:600人)
実施項目		
地域コミュニティの支援		

目標達成度がかなり下回っている(60%未満)実施項目

基本方針・項目分類	下回った理由
4-(1)	自治会チャレンジ事業については、4月から補助事業の募集を開始し、相談会を開催するなどして、3つの自治会から申請がありました。周知期間が短かったことから、自治会で事業検討に充てる時間が不足し、目標達成に至りませんでした。
実施項目	
自治会活動の活性化	今後の取組み 今後は、補助事業が自治会にとって使いやすくなるよう見直しを行いながら、周知にも努めていきます。

取組実績等

成果
●「協働推進員意識の向上」において、所属担当及び地域担当協働推進員を対象とした研修を各2回、職員を対象とした協働の基礎となる研修を実施し、同研修参加者の研修理解度について、5段階のうち平均4.0となりました。 ●「地域コミュニティの支援」において、各地域の特性を生かした自主的・自立的なまちづくり活動を行うことができるよう、地域まちづくり交付金を交付したほか、(一社)高松市コミュニティ連合会と連携して地域コミュニティ協議会の人材育成、交流が図られるよう研修や交流会を実施し、年間を通して605人(うちオンライン参加209人)の参加がありました。
課題
●自治会チャレンジ事業については、4月から補助事業の募集を開始し、相談会を開催するなどして、3つの自治会から申請があったが、周知期間が短かったことから、自治会で事業検討に充てる時間が不足し、目標達成に至りませんでした。
今後の取組み
●今後は、自治会チャレンジ事業が自治会にとって使いやすくなるよう見直しを行いながら、周知にも努めていきます。 ●次年度も、協働意識向上のための研修内容を見直しながら、協働意識の向上を図ります。 ●今後も引き続き、まちづくり交付金を交付するほか、職員のニーズに合った研修等を実施し、地域コミュニティ協議会を支援していきます。

市民局

全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-①	実施内容(概要) ● 対象となる事業はありませんでした。
実施項目 全庁的な 事務事業の見直し	
基本方針・項目分類 1-(2)-②	実施内容(概要) ● 見直しすべき補助金等は、ありませんでした。
実施項目 全庁的な 補助金等の見直し	
基本方針・項目分類 2-(1)-③	実施内容(概要) ● 総合センター間の照会・回答を自治体専用ビジネスチャットツールを使うことで、迅速、簡潔に行いました。
実施項目 ICT等を活用した 業務の効率化	● 仏生山総合センターにおいて、他の総合センターの待ち人数が分かるQRコードを窓口に掲示し、混雑時等に市民が自由に利用できるようにすることで、可能な限り窓口混雑の解消に努め、業務の効率化を図りました。 ● 各総合センターにおいて、窓口案内表示システムの更新に当たり、職員向けの窓口待機状況表示モニターを新たに設置したことで、より一層スムーズな窓口対応を図ることができるようになりました。 ● 人権・男女共同参画推進課において、講演会などのアンケートをLGWAN対応の自治体向け申込みアンケートフォームを活用することにより、業務効率の改善に取り組みました。 ● 暮らし安全安心課において、交通安全教室の申請・受付業務をより効率的に行えるようLGWAN対応の自治体向け申込みアンケートフォームを活用し、業務の改善に取り組みました。 ● 市民課において、外国人転入手続及び引越し手続オンラインサービスでの住記システムへの入力作業を効率的に行えるようRPAを活用し、業務の改善に取り組みました。 ● 市民課において、アナログBPRの手法を活用し、市民の導線を整理し、繁忙期でも混雑しないスムーズな案内等が出来るように、レイアウトを一時的に変更するなど、臨機応変な対応を実施しました。 ● 市民サービスセンターにおいて、キャッシュレス決済を導入することにより、市民の利便性向上に努めました。
基本方針・項目分類 2-(3)-①	実施内容(概要) ● 適宜取り組むこととしておりますが、令和7年度においては該当する取組がありませんでした。
実施項目 シティプロモーション の推進	
基本方針・項目分類 2-(3)-②	実施内容(概要) ● 協働コミュニティ推進課において、地域審議会及び建設計画関連ページについて、利用者がわかりやすいホームページとなるよう、掲載内容の見直し及びページ集約により整理し、視認しやすいよう更新しました。
実施項目 ホームページの充実	● 各総合センターの窓口状況、待ち人数等を確認できるサイトへのリンクを一つのページにまとめることにより、市民の来庁時の目安・待ち時間の参考とすることで、利便性の向上を図ることができました。
基本方針・項目分類 2-(3)-③	実施内容(概要) ● 人権・男女共同参画推進課において、講演会などの事業について、ホームページに加え、市公式LINE、Facebookに掲載し、市民に情報発信できるよう工夫を行いました。
実施項目 SNS等による 戦略的広報発信	● 暮らし安全安心課において、作品公募、イベント参加者の募集及び消費者被害情報の発信を行いました。

基本方針・項目分類	実施内容(概要)
2-(4)-①	● 協働コミュニティ推進課において、令和6年度の監査で未措置となっていた項目について着手し、発注簿等財務処理による支出事務及び業務委託に係る契約方法の改善に努めました。
実施項目	
監査結果に対する未措置項目の解消	● 仏生山総合センターにおいて、監査で指摘を受けた項目に関し、指定管理者と協議を重ねることとしており、速やかに未措置項目の解消に努めました。 ● 香川総合センターにおいて、平成30年度及び令和2年度の監査で未措置となっていた項目に着手し、所管施設の受益者負担及び財産管理の適正化に努めました。 ● 暮らし安全安心課において、平成24年度の監査で未措置となっていた項目に着手し、措置しました。
基本方針・項目分類	実施内容(概要)
3-(2)-①	● 協働コミュニティ推進課において、職員に対し、協働事業の促進と機運の向上及び協働に対する職員の意識の醸成を図ることを目的とした、外部講師による研修を昨年度に引き続き実施しました。
実施項目	
協働推進意識の向上	● 各総合センターにおいて、地域と行政のパイプ役という意識のもと、各地区協議会に地域担当協働推進員を配置し、研修会に参加することにより、職員の協働意識の向上に寄与しました。 ● 勝賀総合センターにおいて、エリアミーティングを開催し、管内の各コミュニティ協議会との意見交換等を実施することにより、地域の課題・問題点等に関しての情報共有を図ることができました。
基本方針・項目分類	実施内容(概要)
3-(3)-①	● 各所属において、特定の曜日をノー残業デーとして設定し、時間外勤務の縮減に努めました。
実施項目	● 各所属において、スマイルプランに基づく働き方改革を意識して、時間外勤務の縮減に努めました。 ● 各所属において、所属長が「もっとイクボス宣言」を掲示し、時間外勤務の縮減についての考え方を職員へ周知することにより、職員の時間外勤務削減への意識を醸成しました。
時間外勤務の縮減	● 総合センター・支所・出張所において、執務時間等の見直しを検討する基礎データとして、時間帯別取扱件数調査を実施しました。 ● 暮らし安全安心課において、業務の見直しを行い、令和6年度と比較して、時間外勤務数が約59%減少しました。

健康福祉局

令和7年度の実績評価(局評価)

(実施項目数)	6 件		
(取組状況)		目標達成度	
実施済	6 件	※ A:80%~100%以上	5 件
着手済	件	※ B:60%~80%未満	1 件
未着手	件	C:60%未満	件
中止	件		件
未到来	件		件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】※の割合	100 %

特に成果を挙げた実施項目

基本方針・項目分類	実施内容(概要)	実績等
1-(2)	介護保険課では、介護給付を必要とする受給者を適切に認定するとともに、受給者が真に必要なとする過不足のないサービスを、事業者がルールに従って適切に提供するよう促すため、運営指導とは別にケアプラン点検を実施しています。令和7年度は目標の135件を超える、162件のケアプランを点検し、事業所のケアマネジャーとともに検証・確認することにより、サービス利用の適正化につなげることができました。	ケアプランの点検件数 162件 (目標:135件)
4-(1)	「共助の基盤づくり事業」について、未実施地区を訪問するなど事業周知に努めた結果、目標実施箇所数(35箇所)を上回る36箇所を実施することができました。	共助の基盤づくり事業 の実施箇所数 36箇所 (目標:35箇所)
実施項目	介護給付の適正化	
実施項目	地域共生社会の実現に向けた取組の推進	

目標達成度がかなり下回っている(60%未満)実施項目

基本方針・項目分類	下回った理由
—	—
実施項目	—
—	今後の取組み
—	—

取組実績等

成果
● 「災害時要配慮者支援事業」について、避難行動要支援者名簿を地域支援組織に情報提供する際に、各地区での取組状況について聞き取りを行い、情報提供や意見交換を行ったほか、他地区・他自治体での先進的な取組事例を紹介し、資料提供を行うなど、避難行動要支援者名簿及び個別避難計画を実効性のあるものとするための地域支援を行いました。 ● 民生委員児童委員協議会代表者が出席するブロック別地区民児協会長会において、「避難行動要支援者名簿・個別避難計画の作成に関する取組」について説明し、地域での名簿の作成・更新・活用の促進に取り組みました。
課題
● 国保・高齢者医療課では、国民健康保険事業における医療費適正化に向け、保険給付費の実態分析や保険給付費の適正化に関する計画の実施・評価のほか、周知啓発活動を行っています。令和7年度は、関係部局と連携し、第3期高松市データヘルス計画に基づく各種保険事業を実施し、数値目標である健康寿命と平均寿命の差の減少に努めましたが、目標値には届きませんでした。
今後の取組み
● 国保・高齢者医療課では、引き続き、計画に基づく各種保険事業の実施・評価に取り組み、保険給付費の上昇抑制を図ってまいります。

健康福祉局

全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-①	実施内容(概要) ● 対象となる事業はありませんでした。
実施項目 全庁的な 事務事業の見直し	
基本方針・項目分類 1-(2)-②	実施内容(概要) ● 見直しすべき補助金等は、ありませんでした。
実施項目 全庁的な 補助金等の見直し	
基本方針・項目分類 2-(1)-③	実施内容(概要) ● 介護保険課において、被保険者証の窓口受取に関する受付業務を効率化するため、LGWAN対応の自治体向け申込みアンケートフォームを活用し、24時間受付可能としました。
実施項目 ICT等を活用した 業務の効率化	● 子育て支援課において、令和6年度に引き続き、本市の病児保育実施事業者と本市に共通の病児保育予約システムを導入し、利用者の利便性の向上、実施事業者スタッフ及び本市の事務負担の軽減による業務の効率化、病児保育業務の安全性及び資質の向上を図りました。(R6年度:4か所→R7年度:5か所) ● 子育て支援課において、令和6年度から実証実験を開始した、子育てひろばイベントWEB予約サービス(ジモイク)を令和7年10月から本格実施し、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図りました。 ● こども家庭課において、特別児童扶養手当の申請について、国の提供する電子申請システムであるぴったりサービスを利用した電子申請の受付を開始しました。
基本方針・項目分類 2-(3)-①	実施内容(概要) ● こども家庭課において、周知啓発イベントを大型ショッピングモールで開催した際、TKMTのタテ型ロールや垂れ幕を設置し、法被を羽織り、ロゴが印字された風船を、来館された多数の方へ向けて配布するなどPRを行いました。
実施項目 シティプロモーション の推進	● 保健医療政策課において、全国の地方自治体や民間団体等が参加する健康都市連合の総会・大会会場で、高松市の特色や健康づくりの取組についてのパネル展示を行い、本市の魅力をPRしました。
基本方針・項目分類 2-(3)-②	実施内容(概要) ● こども未来館において、利用者にとって分かりやすいように、随時情報の更新をしています。特に、イベント・行事については、迅速な情報発信に努めました。
実施項目 ホームページの充実	● 保健医療政策課において、利用者にとって分かりやすいホームページとなるよう、保健所関係のページの階層や掲載内容を見直しました。
基本方針・項目分類 2-(3)-③	実施内容(概要) ● 地域包括支援センターにおいて、認知症の人やその家族、地域住民、介護・福祉の専門職など、誰でも気軽に集い交流することができる「認知症カフェ」の取組や認知症施策について、広く市民に周知するため、LINEやホームページでの広報に加え、令和6年7月に開設したInstagram『たかまつ「ひだまり」カフェ(認知症カフェ)』において、各カフェの活動紹介や認知症フェアのカウントダウン告知など、積極的な情報発信に取り組みました。
実施項目 SNS等による 戦略的広報発信	● こども家庭課において、各種手当等の手続き及びひとり親就労支援イベントの案内等を、Facebook、LINEを使用して広報を行うなど、広く市民に情報を発信できるよう、工夫を行いました。 ● こども保育教育課において、保育施設等入所可能状況について、LINEでの情報発信を行うなど、広く市民に情報を発信できるようにしました。 ● こども未来館において、イベント・行事等の情報を小学校、保育所などに、チラシの配布やInstagram、Facebook、Xで広く発信しました。 ● 保健医療政策課において、年末年始期間において、休日当番医等が混雑し医療機関がひっ迫しないよう、事前にInstagram、X、LINE等で市民に対し適正受診への協力を呼びかけました。 ● 生活衛生課において、財源確保の取組として実施した、クラウドファンディング型ふるさと納税では、ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」に掲載し、全国から寄附金を募集したほか、本市動物情報サイト「わんにゃん高松」や、Facebook、X、LINEでの広報を行うなど、広く市民に情報を発信できるよう、工夫を行いました。

基本方針・項目分類 2-(4)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 生活福祉第一課及び生活福祉第二課において、平成23年度、27年度及び令和元年度の包括外部監査で未措置となっていた項目について着手し、生活保護システムにおける情報セキュリティポリシーの遵守や適正な生活保護業務の実施に努めました。
監査結果に対する未措置項目の解消	● 長寿福祉課において、平成21年度及び23年度の包括外部監査で未措置となっていた項目について着手し、所管施設の廃止決定など、計画的な施設のストック量調整について、改善に努めたほか、財政援助団体に対し、高額契約の競争性の担保について、指導等を行い改善を促しました。
基本方針・項目分類 3-(2)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 適宜取り組むこととしておりますが、令和7年度においては該当する取組がありませんでした。
協働推進意識の向上	
基本方針・項目分類 3-(3)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 長寿福祉課において、課全体の時間外について、業務における計画的な進捗管理等により、令和6年度と比較して約18%縮減しました。
時間外勤務の縮減	● 保健医療政策課においては、時間外勤務に当たっては、業務内容や時間外勤務の理由を明確にした上で必要な場合のみ実施しているほか、朝礼でノー残業デーの周知を行いました。また、事務の効率化、スリム化を意識することで、時間外の縮減に取り組みました。

環境局

令和7年度の取組実績評価(局評価)

(実施項目数)	2 件		
(取組状況)		→目標達成度	
実施済	2 件	※ A:80%~100%以上	1 件
着手済	件	※ B:60%~80%未満	件
未着手	件	C:60%未満	1 件
中止	件		件
未到来	件		件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】※の割合	50 %

特に成果を挙げた実施項目

基本方針・項目分類	実施内容(概要)	実績等
2-(2)	南部クリーンセンターに粗大ごみとして搬入された家具のうち、リユース可能なものについて、清掃を実施し、60点の家具を無償譲渡することができました。今後もリユース事業を継続するとともに、地域情報サイト「ジモティー」への掲載を行い、市民の利便性の向上を図って行きます。	再生家具の譲渡点数:60点 抽選回数:3回 (目標:譲渡点数60点、抽選回数4回)
実施項目		
再生家具の無償譲渡の拡充		

目標達成度がかなり下回っている(60%未満)実施項目

基本方針・項目分類	下回った理由
4-(1)	脱炭素型ライフスタイル推進リーダー養成講座を前年度と同様の16回開催した結果、前年度から登録者数は12人増加したものの、目標を達成できませんでした。
実施項目	
ゼロカーボンシティに係る取組の推進	今後、制度の在り方を見直し、脱炭素型ライフスタイルの普及促進に向けて、実行性のある事業展開に努めます。

取組実績等

成果
● 各課において、LGWAN対応の自治体向け申込みアンケートフォームを活用し、各種申請やイベント参加申込の受付処理を行ったほか、書類の処理や集計業務にAI-OCRを活用するし、業務改善に取り組みました。
課題
● オンラインフォーム、オンライン会議、ChatGPTなどのICT技術等を活用し、業務改善に取り組むと同時に、情報セキュリティに関する知識を深め、情報リテラシーを高めていく必要があります。
今後の取組み
● 業務改革に終わりはないため、ICT技術等を活用し継続的に業務改善に取り組むとともに、情報セキュリティの意識向上に努めます。

環境局

全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 環境総務課において、近年の気候変動により緑のカーテンの栽培が難しくなっている現状を踏まえ、「ゼロカーボンシティたかまつみどりのカーテンコンテスト」を終了することとしました。今後は、緑化による環境負担の軽減をテーマとした環境学習講座に重点を置き、持続的な取組として展開していく方針としました。
全庁的な事務事業の見直し	● ゼロカーボンシティ推進課において、本市が脱炭素先行地域に選定されたことに伴い、局内関係課における事務事業の整理見直しに取り組みました。
基本方針・項目分類 1-(2)-②	実施内容(概要)
実施項目	● 見直しすべき補助金等はありませんでした。
全庁的な補助金等の見直し	
基本方針・項目分類 2-(1)-③	実施内容(概要)
実施項目	● 各課において、イベントや環境学習講座の申込受付、計画書や報告書の提出受付、補助金の申請受付、実証実験の登録申請などに、LGWAN対応の自治体向け申込みアンケートフォームを活用し、電子データでの提出を促進しました。また、受付処理にはAI-OCRを活用することで、書類の処理や集計業務の効率化を図りました。
ICT等を活用した業務の効率化	● 各課において、外部との打合せにオンライン会議を積極的に活用するとともに、庁内打合せにおいては庁内Wi-Fiを利用し、紙資料の印刷を削減するなど、効率的で環境に配慮した事務の執行に取り組みました。
基本方針・項目分類 2-(3)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 環境総務課において、官民連携リユーススポット「ジモティースポット高松」を開設するにあたり、うみまち商店街へのテナント誘致を通じて、本市の地域活性化施策のPRを行うとともに、リユース品の受け入れ対象者を瀬戸高松広域連携中枢都市圏内の市民・町民とすることで、当該自治体住民に対し、本市の環境施策の周知を行いました。
シティプロモーションの推進	
基本方針・項目分類 2-(3)-②	実施内容(概要)
実施項目	● 各課において、利用者がわかりやすく、情報が入手しやすいホームページとなるよう、作成・更新を行いました。
ホームページの充実	
基本方針・項目分類 2-(3)-③	実施内容(概要)
実施項目	● 環境総務課において、官民連携リユーススポット「ジモティースポット高松」の開設に際し、株式会社ジモティーと協議し、SNSを活用した情報発信をはじめ、広聴広報・シティプロモーション課との連携による動画制作など、ジモティー利用者をターゲットとした戦略的な情報発信を行いました。
SNS等による戦略的広報発信	
基本方針・項目分類 2-(4)-①	実施内容(概要)
実施項目	● ゼロカーボンシティ推進課において、平成30年度監査で意見事項となった「行財政改革計画の進行管理（ごみ再資源化事業）」、令和6年度監査で指摘事項となった「製造請負契約に係る適正な履行確認」について、チェックリストの作成等の対策を実施し、改善に努めました。
監査結果に対する未措置項目の解消	● 環境業務課において、平成30年度監査で意見事項となった項目について、協議等を進め、解消に向けて取り組んでいます。
基本方針・項目分類 3-(2)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 環境総務課において、環境学習イベント等を通じて、各コミュニティ協議会や地域の各種団体等の地域活性化の取組等について、その地を訪れ、地域のキーパーソンを講師に講座として紹介しているほか、情報発信の支援を行うなど、持続可能な地域活動になるよう、それぞれの役割分担の下、積極的に支援を行いました。
協働推進意識の向上	
基本方針・項目分類 3-(3)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 局内において、課内の連携強化を図ることにより、時間外勤務の縮減に努めました。
時間外勤務の縮減	

創造都市推進局

令和7年度の実績評価(局評価)

(実施項目数)	7 件		
(取組状況)		目標達成度	
実施済	6 件	※ A:80%~100%以上	5 件
着手済	1 件	※ B:60%~80%未満	2 件
未着手	件	C:60%未満	件
中止	件		件
未到来	件		件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】※の割合	100 %

特に成果を挙げた実施項目

基本方針・項目分類	実施内容(概要)	実績等
2-(2)	高松市美術館及び塩江美術館について、一般的にも人気のある特別展を複数開催したことに加え、エントランス活用事業等の様々なイベントを開催したことによって、世代性別を問わず集客があったほか、効果的な広報、商店街等を始め、地域や学校との連携などに努めることで、利用者数が数値目標値及び前年度実績を大きく上回ることができました。	高松市美術館及び塩江美術館の利用者数 262,677人 (目標:172,000人)
実施項目		
高松市美術館及び塩江美術館の利用率等の向上		

目標達成度がかなり下回っている(60%未満)実施項目

基本方針・項目分類	下回った理由
—	
実施項目	—
—	今後の取組み
	—

取組実績等

成果
● 中小企業金融対策事業のうち、外部評価の検討結果を踏まえ、開業資金に代わる制度として、創業者等の資金調達を支援するため、利子の一部を補給する制度内容を含む、創業・スタートアップ関係の支援事業を検討しました。 ● 観光施設の在り方について、「公共施設再編整備計画」等に基づき、観光施設の老朽化状況を把握し、効率性・経済性の観点から、今後の施設の在り方を検討することができ、塩江温泉郷宿泊数が数値目標値を上回ったほか、庵治太鼓の鼻オートキャンプ場の賃借料について効果額目標値を上回る収入を得ることができました。
課題
● スポーツ施設の維持管理について、厳しい財政状況と施設の老朽化が進行していく中で、計画的に施設・設備の更新を行い、施設の長寿命化を図るため、引き続き、長寿命化計画の策定に取り組む必要があります。
今後の取組み
● 引き続き、各スポーツ施設の調査業務を行い、長寿命化計画の策定を進めていくほか、計画的に修繕等を行っていきます。

創造都市推進局
全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-① 実施項目 全庁的な 事務事業の見直し	実施内容(概要) ● 土地改良課において、令和6年から始まった新しい高松市農業振興計画に基づく農業用施設の整備等を実施したことにより、本市農業の目指すべき姿「創造性豊かで持続可能な農業」の実現を推進しました。
基本方針・項目分類 1-(2)-② 実施項目 全庁的な 補助金等の見直し	実施内容(概要) ● 産業振興課において、社会状況の変化や事業者のニーズを踏まえた新たな中小企業向けの補助制度の創出に当たり、既存の補助金の見直しやスクラップを行いました。 ● 土地改良課において、各種土地改良団体に対する適正な補助事業の在り方について、他の中核市等へ調査を行いました。 ● 文化芸術振興課において、文化芸術活動に対する補助金について、本市の地域アーツカウンシル「クリエイティブ・ポート高松」における審査を導入し、文化芸術の質の向上と、担い手の育成につながるように制度の見直しを図りました。
基本方針・項目分類 2-(1)-③ 実施項目 ICT等を活用した 業務の効率化	実施内容(概要) ● 各所属において、LGWAN対応の自治体向け申込みアンケートフォームを活用し、各種調査に対する回答やイベントの参加申込み等をオンラインでできるようにすることで、市民の利便性の向上及び業務の効率化を図りました。 ● 各所属において、事業者との打合せや関係者との協議にWeb会議システムを活用することで、旅費等、移動にかかるコストや時間の削減に努めました。また、無線LAN設備の拡充や既存のアプリケーションソフトの充実に取り組むことにより、施設利用者の利便性の向上や事務負担の軽減を図りました。
基本方針・項目分類 2-(3)-① 実施項目 シティプロモーション の推進	実施内容(概要) ● 産業振興課において、本市の特産品及び伝統的ものづくりの普及・啓発及び販路拡大を推進するため、彦根市、水戸市を始めとする「姉妹城・親善都市と交流都市の観光と物産展」を本市で開催したほか、「東京インターナショナル・ギフト・ショー春2026 第19回LIFE×DESIGN」へ高松市ブースを出展し、県外・海外のバイヤーへPRを行いました。 ● 企業立地推進課において、香川県や政策課東京事務所と連携した取組として、企業誘致関連イベントでのブースを出展するなど、大都市圏を中心とした情報通信関連施設等の誘致活動を行いました。 ● 文化財課において、史跡・埋蔵文化財に関するサイン(解説板)の内容を全面的に見直し、多言語対応・ユニバーサルデザインに配慮したものとしたことで、観光客を始めとした来訪者の利便性の向上と、本市の歴史などへの関心を高める環境を整備しました。 ● 美術館美術課において、高松市美術館の「美術館の日」に、広聴広報・シティプロモーション課と協同で『あなたの「TKMT」を作ろう！』ブースを設け、TKMTから始まる言葉を考え、並び替えて文章を作ることを通じて、来館者に向けてTKMTのPRを行いました。
基本方針・項目分類 2-(3)-② 実施項目 ホームページの充実	実施内容(概要) ● 企業立地推進課において、「イベントアーカイブ」のページを新たに作成し、利用者にとって分かりやすいホームページとなるよう更新を行いました。 ● 土地改良課において、決壊した場合に影響が大きいため池について、浸水想定区域図と、避難経路や避難場所を示したハザードマップを掲載するなど、ため池防災関連を充実させました。 ● 市場管理課において、市場活性化の取組を積極的に発信するため、本市ホームページにおいて、関連商品売場棟へ出店している店舗の情報や施設に施されている壁画アート作品の紹介等を行いました。また、高松市中央卸売市場運営協議会との連携・協力の下、運用している市場のブランドサイト『Takamatsu Sea & Sun Market』及びECサイトの『Takamatsu Sea & Sun Market Online Store』により、店舗の情報や市場に集まる旬の食材等をタイムリーに紹介するとともに、市場で取り扱っている商品是一般の方にも手軽に購入していただける環境を整えました。 ● 観光交流課都市交流室において、庁内各課から集めた外国人に必要な情報や、国、県等の関係機関の情報を集約したページを、市公式ホームページ内に作成しました。
基本方針・項目分類 2-(3)-③ 実施項目 SNS等による 戦略的広報発信	実施内容(概要) ● 各所属において、イベント開催時には、本市ホームページでの周知だけでなく、公式LINEで登録者に直接案内を行うほか、創造都市推進局のFacebook、Instagramを活用し、実施事業の取組について広く周知、発信を行いました。 ● 競輪場事業課において、高松競輪の開催状況などをSNSに掲載し、競輪事業の収益確保につなげました。 ● 市場管理課において、市場活性化の取組を積極的に発信するため、高松市中央卸売市場運営協議会との連携・協力の下、Instagramを開設しており、市場で開催するイベント情報や関連商品売場棟(うみまち商店街)へ出店している店舗の情報、市場に集まる旬の食材の写真を積極的に投稿しました。

基本方針・項目分類 2-(4)-①	実施内容(概要)
実施項目 監査結果に対する 未措置項目の解消	● 農林水産課において、令和元年度及び3年度の監査委員監査で未措置となっていた項目について着手し、行政財産使用許可の適正な事務処理を行うなど、局全体で未措置項目の解消に取り組みました。
基本方針・項目分類 3-(2)-①	実施内容(概要)
実施項目 協働推進意識の向上	● 産業振興課において、香川県よろず支援拠点、国、県等の行政機関や金融機関などで構成する「よろず連絡会」において、各団体の取組やセミナーなどに関する情報交換を行うことで、創業支援や中小企業・小規模事業者支援などの情報の周知啓発を図りました。 ● 土地改良課において、地域住民等と協働で用途地域内のため池の草刈り等を行う「ため池守り隊」市民活動事業を推進しました。
基本方針・項目分類 3-(3)-①	実施内容(概要)
実施項目 時間外勤務の縮減	● 各所属において、ノー残業デーを設定し、令和5年度と比較して、時間外勤務時間数の縮減に努めました。 ● 各所属において、特定の職員に業務が集中しないよう、業務分担の見直しや改善に取り組み、業務の平準化を図りました。

都市整備局

令和7年度の実績評価(局評価)

(実施項目数)	10 件		
(取組状況)		→目標達成度	
実施済	8 件	※ A:80%~100%以上	9 件
着手済	2 件	※ B:60%~80%未満	1 件
未着手	件	C:60%未満	件
中止	件		件
未到来	件		件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】※の割合	100 %

特に成果を挙げた実施項目

基本方針・項目分類	実施内容(概要)	実績等
2-(1)		
実施項目	本事業は、道路台帳、都市計画基本図等のインフラデータをデジタル化・オープンデータ化により、地理空間データ基盤を構築し、デジタル化の推進により、庁内業務におけるBPRをはじめ、市民や事業者の利便性の向上など、様々な地域課題の解決に取り組むものです。令和7年度は、災害対応の迅速化を図るため、地理空間データ基盤を活用した災害対策アプリケーション(庁内向)の令和8年度からの本格運用に向け、災害対策業務の運用について見直しを行い、地域防災計画及び水防計画に反映させました。	地理空間データ基盤上で提供されるサービス数 9件 (目標:8件)
デジタル社会基盤整備・活用の推進		

目標達成度がかなり下回っている(60%未満)実施項目

基本方針・項目分類	下回った理由
—	
実施項目	—
	今後の取組み
—	—

取組実績等

成果
● 放置自転車等対策事業については、中央商店街クリーン作戦などによる放置自転車対策に関する周知・啓発を行ったことにより、放置自転車禁止区域における警告札貼付件数について、目標値の9,210件に対し、実績値は4,102件となり、放置自転車が減少しました。 ● 「サンポートエリアの公共空間開放に向けた利活用の推進」については、周知・啓発を徹底したことにより、参画者数が、目標値の24団体に対し、27団体となり、目標を達成しました。
課題
● 「公共交通空白地域の解消」については、公共交通空白地域における移動手段を確保していく上で、現行の補助制度だけでは対応が困難な状況となっています。
今後の取組み
● コミュニティバスの運行支援やタクシーを活用した新しい交通モードとなるバタクスの水平展開など、公共交通空白地域における移動手段の確保のほか、タクシー助成事業等の福祉施策による移動支援など、様々な施策を組み合わせながら、市域全体の移動をデザインすることにより、市民の足の確保に努めます。

全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 道路整備課において、予算化段階、実行段階の各段階において、事業の必要性を再検討し、事業内容を精査することで事業費の削減、抑制に努めました。また、実施に当たっては効率的かつ効果的に事業が進捗するように、事業工程を綿密に検討、計画し、取り組みました。
全庁的な事務事業の見直し	
基本方針・項目分類 1-(2)-②	実施内容(概要)
実施項目	● 市営住宅課において、国の補助金をさらに活用するため、防災安全交付金の利用を検討しました。
全庁的な補助金等の見直し	
基本方針・項目分類 2-(1)-③	実施内容(概要)
実施項目	● 建築指導課において、建築計画概要書の閲覧・写しの交付業務(1件30分)を、申請者において、閲覧・交付を行う窓口システムを導入することで業務の改善に取り組みました。(効果額(年間):4,700千円)
ICT等を活用した業務の効率化	● 住宅政策課において、マンション管理セミナーの事前参加申込みを効率的に行えるよう、LGWAN対応の自治体向け申込みアンケートフォームを用いて取り組みました。 ● 南部土木センターにおいて、契約依頼工事で遠隔臨場を積極的に活用することにより、現場まで移動の所要時間が削減され、業務の効率化を図りました。 ● 都市計画課において、地理空間データ基盤を活用した災害対策アプリケーションの令和8年度からの本格運用に向け、危機管理課、河港課、都市計画課デジタル社会基盤整備室が連携し、災害対策業務の運用について見直しを行い、災害対応の迅速化、業務効率化を図りました。
基本方針・項目分類 2-(3)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 都市計画課において、滞在型観光に資する「高松市中心市街地夜間景観ガイドライン」を令和7年11月に策定しました。
シティプロモーションの推進	
基本方針・項目分類 2-(3)-②	実施内容(概要)
実施項目	● 交通政策課において、利用者がわかりやすいホームページとなるよう、更新を行いました。 ● 下水道整備課において、事業の推進のため、関係事業者を対象としたわかりやすいホームページとなるよう更新しました。 ● 建築課において、しゅん工した建築物を反映させて、ホームページを更新しました。
ホームページの充実	● 市営住宅課において、ホームページ掲載内容を各担当で確認し、不必要な情報の削除及び新しい情報の更新を実施しました。 ● 道路整備課において、都市計画道路事業や橋りょう長寿命化事業、自転車利用環境整備事業等について事業の進捗状況を掲載するなど、ホームページ内容の充実を図りました。
基本方針・項目分類 2-(3)-③	実施内容(概要)
実施項目	● 下水道業務課において公共下水道接続について、広報高松やFacebookなどのSNS等により市民への幅広い広報発信を実施しました。
SNS等による戦略的広報発信	● 住宅政策課において、10月の住生活月間に合わせ、2つの住宅イベントを実施した際に、Instagram等での広報を行うなど、広く市民に情報を発信できるよう工夫を行いました。 ● 南部土木センターにおいて、塩江町に現存し日本最古級と知られている、大正～昭和初期の「シ多曲屈(屈曲多し)」と書かれた戦前の貴重な道路標識を活用し、高松市が実施する「課題ピッチ&交流会」において、この唯一無二の標識を観光資源化し、地域を盛り上げるアイデアを官民連携で募集・議論するなど、「地域共創」の推進を図りました。また、各種メディアによる取材協力や金沢21世紀美術館への貸出を行うなど、広報活動や文化的発信に努めました。 ● 都市計画課において、審議会開催の周知等について、市のSNSを利用し、情報発信を行いました。

基本方針・項目分類 2-(4)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 交通政策課において、平成29年度、令和2年度及び6年度の包括外部監査で未措置となっていた項目について措置を行い、適正な事務処理に努めています。
監査結果に対する未措置項目の解消	● 市営住宅課において、監査結果で指摘された未措置項目について、問題点を精査し、解消に向けて取り組んでいます。 ● 住宅政策課において、令和7年度定期監査及び行政監査で意見のあった項目について速やかに着手し、措置を行いました。 ● 南部土木センターにおいて、監査結果で指摘された未措置項目について、問題点を課内共有、措置を行い、適正な事務処理に努めました。
基本方針・項目分類 3-(2)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 建築課において、協働推進員を通じて、地域コミュニティの会議に参加しました。
協働推進意識の向上	
基本方針・項目分類 3-(3)-①	実施内容(概要)
実施項目	● 下水道経営課においては前年度比6%減少しました。 ● 建築課において、令和7年度は、主管課から依頼を受けた、各設計業務・工事監理業務の時期が集中しなかったことから、時間外勤務は減少していますが、リスクマネジメントの施策に重点を置き、職員が時間外に対して短時間で集中して行う等の意識付けを図りました。
時間外勤務の縮減	● 市営住宅課において、時差出勤を積極的に活用し、業務の効率化を図るとともに、ノー残業デー(水曜日)には、定時退庁を推奨しています。

消防局

令和7年度の取組実績評価(局評価)

(実施項目数)	4 件		
(取組状況)		▶(目標達成度)	
実施済	1 件	※ A:80%~100%以上	3 件
着手済	3 件	※ B:60%~80%未満	1 件
未着手	1 件	C:60%未満	1 件
中止	1 件		
未到来	1 件		
【実施・着手率】	100 %	【達成率】※の割合	75 %

特に成果を挙げた実施項目

基本方針・項目分類	実施内容(概要)	実績等
4-(1)	①応急手当普及員の養成については、目標値20人に対し、31人を養成することができました。	①応急手当普及員認定者数:31人
実施項目	②応急手当普及啓発活動の推進については、各救命講習の実施数目標値290回に対し、404回開催しました。	②各救命講習:404回 (目標①20人、②290回)
応急手当普及啓発活動の推進		

目標達成度がかなり下回っている(60%未満)実施項目

基本方針・項目分類	下回った理由
1-(3)	常備車両2台(機動前進指揮車1台、消防ポンプ車(CD-1)1台)、非常備車両3台(小型動力ポンプ付積載車)は、シャンの提供が遅れたため、令和8年度に繰り越しました。
実施項目	
消防施設維持管理の適正化	今後の取組み 令和8年度は、7年度の繰り越し分5台に加え、常備車両4台(消防ポンプ自動車(CD-1)1台、救急車3台)、非常備車両3台(消防ポンプ車(CD-1)2台、小型動力ポンプ付積載車1台)の更新に取り組みます。

取組実績等

成果

- 消防屯所整備計画の推進について、前田分団第1部消防屯所及び庵治分団4部新開消防屯所が竣工し、運用を開始しました。
- 屋島分団屋島中消防屯所については、令和8年度中の竣工を目指して、引き続き取り組んでいます。
- 庵治分団については、この整備に伴い消防屯所を統廃合し、消防力を維持したまま、消防屯所数を2減少させました。
- 屋島分団も消防屯所数は1減少予定です。

課題

- 市町合併により、消防屯所の配置が現状に即していないことから、是正の必要があります。

今後の取組み

- 令和9年度以降の屯所整備計画においても、ファシリティマネジメントの観点から、消防力を維持することを前提に、効率的な運用により、消防屯所の統廃合を進めます。

消防局

全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-①	実施内容(概要) ● 総務課において、消防局の要綱等を整理し、不要な事務事業等について見直しました。
実施項目 全庁的な 事務事業の見直し	
基本方針・項目分類 1-(2)-②	実施内容(概要) ● 予防課において、高松市女性防火クラブ連絡協議会補助金及び高松市幼年少年消防クラブ連絡協議会補助金について、事業支援型に移行しました。今後も引き続き、見直し方針に従い、定期的に見直しを検討することとしました。
実施項目 全庁的な 補助金等の見直し	
基本方針・項目分類 2-(1)-③	実施内容(概要) ● 予防課において、電子手続きで手数料の支払いができるか検討を始めました。
実施項目 ICT等を活用した 業務の効率化	
基本方針・項目分類 2-(3)-①	実施内容(概要) ● 総務課において、株式会社百十四銀行が主催する「Out of Kidzania in かかわ」に参画し、高松市消防局をアピールし、持続可能な地域社会の実現に向けて活動しました。
実施項目 シティプロモーション の推進	
基本方針・項目分類 2-(3)-②	実施内容(概要) ● 各所属において、イベント等のお知らせをホームページで行いました。 ● 情報指令課において、既存のホームページを多言語対応できるよう改修しました。
実施項目 ホームページの充実	
基本方針・項目分類 2-(3)-③	実施内容(概要) ● 総務課において、消防局の公式Xアカウントの運用を開始し、各所属から市民に対し、林野火災注意報及び警報の発令を始めとした情報発信を積極的に行いました。
実施項目 SNS等による 戦略的広報発信	
基本方針・項目分類 2-(4)-①	実施内容(概要) ● 総務課において、定期監査において指摘のあった郵便切手の管理及び請書による工事の変更契約に係る適正な事務処理について、それぞれ適切に措置を行い、監査委員に対し措置通知を送付しました。
実施項目 監査結果に対する 未措置項目の解消	
基本方針・項目分類 3-(2)-①	実施内容(概要) ● 予防課において、地域の消防団員の写真を掲載した火災予防週間のポスターを作成するなど、地域と協働した広報活動を行いました。 ● 各所属において、協働推進員を通じて、協働研修の内容や活用方法等について周知しました。
実施項目 協働推進意識の向上	
基本方針・項目分類 3-(3)-①	実施内容(概要) ● 各所属において、毎週水曜日をノー残業デーに設定し、その励行及び時差出勤の推進や、業務の効率化に積極的に取り組み、時間外勤務の縮減に努めました。
実施項目 時間外勤務の縮減	

病院局

令和7年度の取組実績評価(局評価)

(実施項目数)	2 件		
(取組状況)		目標達成度	
実施済	2 件	※ A:80%~100%以上	2 件
着手済	件	※ B:60%~80%未満	件
未着手	件	C:60%未満	件
中止	件		件
未到来	件		件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】※の割合	100 %

特に成果を挙げた実施項目

基本方針・項目分類	実施内容(概要)	実績等
1-(3)	みんなの病院の附属医療施設として、塩江分院敷地内の塩江地域保健活動センターを全面改修し、早期かつ確実に整備を進めます。	
実施項目		
附属医療施設(塩江分院)の整備		附属医療施設(塩江分院)整備事業の進捗率 0.2% (目標:0.2%)

目標達成度がかなり下回っている(60%未満)実施項目

基本方針・項目分類	下回った理由
—	
実施項目	—
—	今後の取組み
	—

取組実績等

成果 ● 附属医療施設の整備に必要な、塩江地域保健活動センター改修に係る実施設計に着手し、対象施設について、アスベスト含有調査を実施しました。 ● 旧高松市民病院においては、土壌汚染状況調査を実施しました。 ● 旧高松市民香川診療所においては、残置物処理を実施しました。
課題 ● 昨今の物価上昇等の影響により、附属医療施設整備計画の遅延リスクがあります。 ● 旧高松市民病院においては、土壌汚染が認められたことから、追加で実施する地下水調査の結果を踏まえ、今後の解体方針等を決定する必要があります。 ● 旧高松市民香川診療所においては、跡地の有効活用について検討する必要があります。
今後の取組み ● 関係部署と連携を強化し、整備計画の遅延リスクの低減に取り組みます。 ● 旧高松市民病院においては、地下水調査の結果が判明次第、速やかに今後の解体方針等を決定します。 ● 旧高松市民香川診療所においては、跡地の利用希望がある部署・団体と協議を進めます。

病院局

全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-①	実施内容(概要) ● 塩江分院事務局において、みんなの病院への移転後、閉鎖状態が続いている旧病院の跡地に関し、旧高松市民病院建物の解体、旧高松市民病院塩江分院建物の解体、旧高松市民病院香川診療所の在り方検討を、必要な調査の追加等を考慮しながら、適宜見直ししました。
実施項目 全庁的な事務事業の見直し	
基本方針・項目分類 1-(2)-②	実施内容(概要) ● 見直しすべき補助金等は、ありませんでした。
実施項目 全庁的な補助金等の見直し	
基本方針・項目分類 2-(1)-③	実施内容(概要) ● 総務課において、採用試験業務において、紙媒体での応募を全廃し、オンライン応募のみとしたことで、各種郵送等の業務削減に努めました。
実施項目 ICT等を活用した業務の効率化	
基本方針・項目分類 2-(3)-①	実施内容(概要) ● 医事課において、Instagramにみんなの病院で出生した新生児を掲載し、出生をみんなで祝うことができるよう取り組みました。
実施項目 シティプロモーションの推進	
基本方針・項目分類 2-(3)-②	実施内容(概要) ● 医事課において、情報提供の最重要手段の一つであるホームページについて、画一的で無機質な印象とならないよう、医師、看護師等、多職種のスタッフにも協力を得ながら、充実した内容の構築に努めました。ページ更新や新規の記事作成に当たっては、必要に応じて専門業者に外注するなど、メンテナンスにも配慮して、より高い効果が得られるよう、掲載内容やレイアウト等を随時見直し、新鮮な情報の提供・発信に取り組みました。
実施項目 ホームページの充実	
基本方針・項目分類 2-(3)-③	実施内容(概要) ● 医事課において、各SNSの特徴を踏まえた上で、FacebookやInstagramでの広報を積極的に行いました。また、令和7年12月から高松市立みんなの病院公式LINEを開設し、市民に対して情報を発信し、市立病院への理解促進を図りました。
実施項目 SNS等による戦略的広報発信	
基本方針・項目分類 2-(4)-①	実施内容(概要) ● 経営企画課において、令和5年度の監査で未措置となっていた項目について着手し、予算書の記載を改めました。
実施項目 監査結果に対する未措置項目の解消	
基本方針・項目分類 3-(2)-①	実施内容(概要) ● 適宜取り組むこととしておりますが、令和7年度においては該当する取組がありませんでした。
実施項目 協働推進意識の向上	
基本方針・項目分類 3-(3)-①	実施内容(概要) ● 医療局において、医師労働時間短縮計画に基づき、時間外の縮減に努めたほか、看護局において、タスクシフト、タスクシェアに資する看護師の特定行為(医行為)研修の受講などを促進しました。
実施項目 時間外勤務の縮減	

教育局

令和7年度の取組実績評価(局評価)

(実施項目数)	4 件		
(取組状況)		目標達成度	
実施済	3 件	※ A:80%~100%以上	3 件
着手済	1 件	※ B:60%~80%未満	1 件
未着手	件	C:60%未満	件
中止	件		件
未到来	件		件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】※の割合	75 %

特に成果を挙げた実施項目

基本方針・項目分類	実施内容(概要)	実績等
2-(1)	一人一台端末や電子黒板などのICTを日常的に活用した学習に取り組むことで、児童生徒の情報活用能力や学習意欲の向上を図りました。	前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使用していると回答した児童生徒の割合 小学校:61.1% 中学校:49.0% (目標 小学校72% 中学校 62%)
実施項目		
教育ICT整備・活用の推進		

目標達成度がかなり下回っている(60%未満)実施項目

基本方針・項目分類	下回った理由
2-(2)	ハイブリッド型講座の開催が6年度と比べ増加したものの3回にとどまりました。
実施項目	
新たな手法を活用した学びの推進	今後の取組み 今後も、オンライン講座やハイブリッド型講座の開催増に取り組むとともに、講座のデジタル化や電子黒板を活用した講座の開催に取り組めます。

取組実績等

成果
●「新たな手法を活用した学びの推進」については、昨年度に引き続き、オンラインと対面を組み合わせたハイブリッド型講座の開催に取り組めました。 ●「教育ICT整備・活用の推進」については、研修やICT支援員及びICTサポートスタッフの配置、各学校での実践紹介等により、教員のICT活用能力の向上に努めたことで、一人一台端末等を活用した授業は年々増加しています。 ●「不登校対策事業」については、不登校対策事業の拡充について検討した結果、令和7年度下半期から教育支援センターにおいて、新たに小学校低・中学年支援教室及び少人数支援教室を開設するとともに、アウトリーチ支援を行うこととしました。
課題
●「新たな手法を活用した学びの推進」については、ハイブリッド型講座の開催が3回にとどまり、生涯学習センターのデジタル化した講座等の開催割合が目標達成度を下回りました。
今後の取組み
●「教育ICT整備・活用の推進」については、指導主事や研修指導員が全小・中学校を訪問し、操作研修会を実施することで、授業で一人一台端末を更に高い頻度で活用することを促すとともに、端末持ち帰り本格運用を推進することで、ICT活用の日常化を図ります。 ●「不登校対策事業」については、校内サポートルームの支援員配置及び民間フリースクール助成も含め不登校対策の拡充を図ります。

教育局

全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-①	実施内容(概要) ● 対象となる事業はありませんでした。
実施項目 全庁的な 事務事業の見直し	
基本方針・項目分類 1-(2)-②	実施内容(概要) ● 見直しすべき補助金等は、ありませんでした。
実施項目 全庁的な 補助金等の見直し	
基本方針・項目分類 2-(1)-③	実施内容(概要) ● 適宜取り組むこととしておりますが、令和7年度においては該当する取組がありませんでした。
実施項目 ICT等を活用した 業務の効率化	
基本方針・項目分類 2-(3)-①	実施内容(概要) ● 学校教育課において、本市の魅力を認識し、社会活動に参画しようとする子どものシビックプライドの醸成を図るため、子どもが地域の魅力を紹介し合い、魅力を知る機会や魅力を伝えるPR動画を作成し、映画館や、本市のデジタルサイネージ及び高松ムービーチャンネル等で放映しました。
実施項目 シティプロモーション の推進	● 「高松わくわくイングリッシュ」では、子どもたちが高松の魅力を英語で発信するための土台づくりを目的として、小中学校に勤務するALTが本市の魅力を英語で紹介する動画・対話形式のコンテンツ作成し、高松ムービーチャンネルで放映することで、国内外問わず、広くPRを行いました。
基本方針・項目分類 2-(3)-②	実施内容(概要) ● 適宜取り組むこととしておりますが、令和7年度においては該当する取組がありませんでした。
実施項目 ホームページの充実	
基本方針・項目分類 2-(3)-③	実施内容(概要) ● 生涯学習センターにおいて、インスタグラム「イクゼマナビカン!!」を配信することにより、「広報高松」や当センター情報誌「まなびかんづめ」と合わせて、幅広い年齢層への広報に努めています。
実施項目 SNS等による 戦略的広報発信	● 中央図書館において、水辺の図書館事業等の実施に際し、インスタグラムでの広報を行うなど、広く市民に情報を発信できるよう工夫を行いました。
基本方針・項目分類 2-(4)-①	実施内容(概要) ● 学校教育課において、平成29年度、令和元年度、5年度の定期監査及び平成30年度の包括外部監査で未措置となっていた項目について着手し、貸付金の見直しや各学校の未納金の取扱い、教職員による給食費等諸費の徴収事務など、適正かつ効率的な執行を推進するために作成した「学校徴収金等取扱マニュアル」を基に、事務の改善に努めました。
実施項目 監査結果に対する 未措置項目の解消	● 高松一高において、令和3年度及び5年度の定期監査で未措置となっていた項目について着手し、指摘事項の改善に努めました。 ● 少年育成センターにおいて、平成29年度の定期監査及び行政監査で未措置であった指摘事項について着手し、青少年健全育成団体に対する補助金等の総合的な見直しを行いました。
基本方針・項目分類 3-(2)-①	実施内容(概要) ● 適宜取り組むこととしておりますが、令和7年度においては該当する取組がありませんでした。
実施項目 協働推進意識の向上	
基本方針・項目分類 3-(3)-①	実施内容(概要) ● 適宜取り組むこととしておりますが、令和7年度においては該当する取組がありませんでした。
実施項目 時間外勤務の縮減	

監査委員事務局

令和7年度の取組実績評価(局評価)

(実施項目数)	1 件		
(取組状況)		→目標達成度	
実施済	1 件	※ A:80%~100%以上	1 件
着手済	件	※ B:60%~80%未満	件
未着手	件	C:60%未満	件
中止	件		件
未到来	件		件
【実施・着手率】	100 %	【達成率】※の割合	100 %

特に成果を挙げた実施項目

基本方針・項目分類	実施内容(概要)	実績等
2-(4)	監査結果に対する措置強化週間(フォローアップウィーク)を設定し、措置の進捗状況確認や措置文案作成等に係る個別相談等を行いました。	
実施項目		
監査結果に対する未措置項目の解消		—

目標達成度がかなり下回っている(60%未満)実施項目

基本方針・項目分類	下回った理由
—	
実施項目	—
—	今後の取組み
	—

取組実績等

成果
● 監査結果に対する措置強化週間(フォローアップウィーク)を設定し、措置の進捗状況確認や措置文案作成等に係る個別相談等を行った結果、令和7年度未措置率(監査委員監査)が6年度末と比べ、0.8ポイント上昇しました。(令和6年度末95.0%、令和7年度末95.8%(↑0.8ポイント))
課題
● 措置率は上昇していますが、監査結果公表から6か月間としている措置通知期間(令和8年度からは、監査結果公表から1年間)を過ぎた未措置項目があることから、更なる未措置解消に向けた取組が課題であると考えています。
今後の取組み
● 引き続き、措置の進捗状況確認等を行い、未措置項目の解消に取り組みます。

監査委員事務局

全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-①	実施内容(概要) ● 法令等の改正に合わせて、監査基準や業務マニュアルの更新等を行い、監査業務の質の向上に努めました。
実施項目 全庁的な 事務事業の見直し	
基本方針・項目分類 1-(2)-②	実施内容(概要) ● 見直しすべき補助金等は、ありませんでした。
実施項目 全庁的な 補助金等の見直し	
基本方針・項目分類 2-(1)-③	実施内容(概要) ● 例月現金出納検査等に係る議事録作成等に当たり、AI議事録作成システムを引き続き活用することにより、業務の効率化に努めました。
実施項目 ICT等を活用した 業務の効率化	
基本方針・項目分類 2-(3)-①	実施内容(概要) ● 適宜取り組むこととしておりますが、令和7年度においては該当する取組がありませんでした。
実施項目 シティプロモーション の推進	
基本方針・項目分類 2-(3)-②	実施内容(概要) ● 各種監査結果や監査結果に対する措置通知などの公表のほか、監査計画など監査に関する情報を分かりやすく掲載し、市民等へ充実度の高い情報発信に努めました。
実施項目 ホームページの充実	
基本方針・項目分類 2-(3)-③	実施内容(概要) ● ホームページ以外に、SNS等による情報発信は実施していません。
実施項目 SNS等による 戦略的広報発信	
基本方針・項目分類 2-(4)-①	実施内容(概要) ● 監査結果に対する措置強化週間(フォローアップウィーク)を設定し、措置の進捗状況確認や措置文案作成等に係る個別相談等を行うことにより、未措置項目の解消に取り組みました。
実施項目 監査結果に対する 未措置項目の解消	
基本方針・項目分類 3-(2)-①	実施内容(概要) ● 適宜取り組むこととしておりますが、令和7年度においては該当する取組がありませんでした。
実施項目 協働推進意識の向上	
基本方針・項目分類 3-(3)-①	実施内容(概要) ● 効率的な業務の遂行により、時間外勤務の縮減に努めました。
実施項目 時間外勤務の縮減	

選挙管理委員会事務局

全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-① 実施項目 全庁的な 事務事業の見直し	実施内容(概要) ● 各担当ごとに作成している選挙事務マニュアル及び、全体の主要事務日程表の確認を行い、適正に選挙を管理執行できるよう、適宜見直しを行いました。
基本方針・項目分類 1-(2)-② 実施項目 全庁的な 補助金等の見直し	実施内容(概要) ● 見直すべき補助金等はありませんでした。
基本方針・項目分類 2-(1)-③ 実施項目 ICT等を活用した 業務の効率化	実施内容(概要) ● 投票所の施設利用に係る調査をLGWAN対応の自治体向け申込みアンケートフォームを利用して、投票管理者等から回答してもらいました。 ● 選挙時のシステム研修の日程調整をLGWAN対応の自治体向け申込みアンケートフォームを利用して回答してもらいました。 ● 啓発授業等に係る学校や県との打合わせをWEB会議システムを利用して行いました。
基本方針・項目分類 2-(3)-① 実施項目 シティプロモーション の推進	実施内容(概要) ● 適宜取り組むこととしておりますが、令和7年度においては該当する取組がありませんでした。
基本方針・項目分類 2-(3)-② 実施項目 ホームページの充実	実施内容(概要) ● 令和7年度参議院議員通常選挙及び衆議院議員総選挙の際に、特設ページを別途作成し、分かりやすい情報発信に努めました。 ● 選挙制度、選挙啓発に関する情報や過去の選挙記録などを分かりやすくまとめ、随時ホームページに掲載することにより、日頃からの情報発信にも努めました。
基本方針・項目分類 2-(3)-③ 実施項目 SNS等による 戦略的広報発信	実施内容(概要) ● 令和7年度参議院議員通常選挙及び衆議院議員総選挙の際に、投票率向上のため、高松市が発信しているXで投票の呼び掛けを行いました。
基本方針・項目分類 2-(4)-① 実施項目 監査結果に対する 未措置項目の解消	実施内容(概要) ● これまでに実施された監査の結果に対する未措置項目はありません。
基本方針・項目分類 3-(2)-① 実施項目 協働推進意識の向上	実施内容(概要) ● 適宜取り組むこととしておりますが、令和7年度においては該当する取組がありませんでした。
基本方針・項目分類 3-(3)-① 実施項目 時間外勤務の縮減	実施内容(概要) ● 令和7年度は参議院議員通常選挙及び衆議院議員総選挙の実施により、7月、2月を中心に時間外勤務が多く発生しました。 ● 上記時期以外は、時間外勤務の削減に努めました。

農業委員会事務局

全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-①	実施内容(概要) ● 法令・制度の改正に合わせて、手続事務に関する審査基準や事務処理要領の更新を行い、適正な農業委員会業務の実施に努めました。
実施項目 全庁的な 事務事業の見直し	
基本方針・項目分類 1-(2)-②	実施内容(概要) ● 見直すべき補助金等はありませんでした。
実施項目 全庁的な 補助金等の見直し	
基本方針・項目分類 2-(1)-③	実施内容(概要) ● 農業DXの推進に向けて、現地調査用の農業委員会タブレット端末や全国共通の農地台帳システム(農業委員会サポートシステム)のデータを活用した現場対応に努めました。
実施項目 ICT等を活用した 業務の効率化	
基本方針・項目分類 2-(3)-①	実施内容(概要) ● 適宜検討していますが、令和7年度においては該当する取組がありませんでした。
実施項目 シティプロモーション の推進	
基本方針・項目分類 2-(3)-②	実施内容(概要) ● 農地の売買、贈与、貸借等の許可事務の流れなどについて、利用者にわかりやすいホームページとするように努めました。
実施項目 ホームページの充実	
基本方針・項目分類 2-(3)-③	実施内容(概要) ● 年2回「農業委員会だより」を発行するなど、情報発信に努めました。
実施項目 SNS等による 戦略的広報発信	
基本方針・項目分類 2-(4)-①	実施内容(概要) ● これまでに実施された監査の結果に対する未措置項目はありません。
実施項目 監査結果に対する 未措置項目の解消	
基本方針・項目分類 3-(2)-①	実施内容(概要) ● 農政課において、協働推進員研修に参加し、その内容について課内で共有することにより、地域との協働の意識向上に努めました。
実施項目 協働推進意識の向上	
基本方針・項目分類 3-(3)-①	実施内容(概要) ● 効率的な業務の遂行により、時間外勤務の縮減に努めました。
実施項目 時間外勤務の縮減	

市議会事務局

全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-①	実施内容(概要) ● 開かれた議会を目指すため、本会議のインターネット配信等の対応を行っているほか、小さな子供連れの保護者が本会議を傍聴している間、利用可能な無料の託児サービスを令和4年3月議会から開始しました。
実施項目 全庁的な 事務事業の見直し	
基本方針・項目分類 1-(2)-②	実施内容(概要) ● 見直すべき補助金等はありませんでした。
実施項目 全庁的な 補助金等の見直し	
基本方針・項目分類 2-(1)-③	実施内容(概要) ● 各所属において、ペーパーレス会議システムを活用し、タブレット端末の利用によるペーパーレス化の推進に鋭意努めました。また、議員同士や事務局とのコミュニケーションツールとしてもタブレット端末を活用し、双方向の円滑な情報伝達や災害発生に関連する情報共有などに努めました。
実施項目 ICT等を活用した 業務の効率化	
基本方針・項目分類 2-(3)-①	実施内容(概要) ● 各市議会等からの視察受け入れに際しては、本市の魅力発信のため、各種パンフレットを参加者に配布いたしました。
実施項目 シティプロモーション の推進	
基本方針・項目分類 2-(3)-②	実施内容(概要) ● 各所属において、利用者がわかりやすいホームページとなるよう、更新を行いました。
実施項目 ホームページの充実	
基本方針・項目分類 2-(3)-③	実施内容(概要) ● 各所属において、議会や議会広報紙の発行に関連する情報発信に際し、Facebookでの広報を行うなど、広く市民に情報を発信できるよう努めました。
実施項目 SNS等による 戦略的広報発信	
基本方針・項目分類 2-(4)-①	実施内容(概要) ● 監査結果を踏まえ、中核市等を対象に取組状況の調査を行い、議会運営委員会に諮る準備をいたしました。
実施項目 監査結果に対する 未措置項目の解消	
基本方針・項目分類 3-(2)-①	実施内容(概要) ● 各所属において、協働推進員を通じて地域コミュニティ協議会から提供された情報について周知しました。
実施項目 協働推進意識の向上	
基本方針・項目分類 3-(3)-①	実施内容(概要) ● 各所属において、時間外勤務の縮減に努め、年間360時間以上の時間外勤務を行った職員はいません。
実施項目 時間外勤務の縮減	

出納室

全局共通取組項目実施状況

基本方針・項目分類 1-(2)-①	実施内容(概要) ● 対象となる事業はありませんでした。
実施項目 全庁的な 事務事業の見直し	
基本方針・項目分類 1-(2)-②	実施内容(概要) ● 見直すべき補助金等はありませんでした。
実施項目 全庁的な 補助金等の見直し	
基本方針・項目分類 2-(1)-③	実施内容(概要) ● 適宜検討はしていますが、令和7年度に実施した業務はありません。
実施項目 ICT等を活用した 業務の効率化	
基本方針・項目分類 2-(3)-①	実施内容(概要) ● 該当はありませんでした。
実施項目 シティプロモーション の推進	
基本方針・項目分類 2-(3)-②	実施内容(概要) ● 該当はありませんでした。
実施項目 ホームページの充実	
基本方針・項目分類 2-(3)-③	実施内容(概要) ● 該当はありませんでした。
実施項目 SNS等による 戦略的広報発信	
基本方針・項目分類 2-(4)-①	実施内容(概要) ● これまでに実施された監査の結果に対する未措置項目はありません。
実施項目 監査結果に対する 未措置項目の解消	
基本方針・項目分類 3-(2)-①	実施内容(概要) ● 協働推進員を通じて地域における協働推進意識の向上を図りました。
実施項目 協働推進意識の向上	
基本方針・項目分類 3-(3)-①	実施内容(概要) ● ノー残業デーを設定し、時間外勤務の縮減に努めました。
実施項目 時間外勤務の縮減	

3 プロジェクト進行管理制

保険給付費適正化プロジェクトチーム

基本情報

基本方針 項目分類	1-(2) 財源の重点的・効果的な配分	実施項目	保険給付費適正化
事務局	国保・高齢者医療課		
関係課	長寿福祉課、介護保険課、地域包括支援センター、健康づくり推進課、政策課、協働コミュニティ推進課、産業振興課		

取組内容(計画策定時)

増大する国民健康保険及び介護保険に係る保険給付費の適正化について、関係課が連携を強化し、効率的・効果的に集中して取り組むため、引き続きプロジェクトチームを設置し、次の事務・事業を行います。

- ①保険給付費の実態に関する分析
- ②保険給付費の適正化に関する計画の見直し及び検証
- ③計画に基づく生活習慣病対策を中心とした各種保健事業等の実施
- ④保険給付費の適正化に関する周知啓発等

実施工程(計画策定時)

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			
▶保険給付費の実態分析 ▶計画の実施・評価 ▶周知啓発活動			
		▶適正化計画の中間見直し	

数値目標値及び実績値

数値目標	健康寿命と平均寿命の差 【R4実績値】男性1.6年、女性3.4年 ※低い方が望ましい指標			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	男性1.5年 女性3.3年	男性1.5年 女性3.3年	男性1.5年 女性3.3年	男性1.4年 女性3.2年
実績値	男性1.9年 女性4.1年	男性2.1年 女性4.5年		

取組実績

目標達成度	B:60%~80%未満
成果	● 令和7年度は、高松市保険給付費適正化プロジェクトチームを活用することで関係部局と連携し、第3期高松市データヘルス計画(以下、「計画」という。)に基づく各種保健事業を実施するとともに、6年度における計画の単年度評価を実施しました。 ● 主な個別事業としては、高血圧症及び脂質異常症受診勧奨事業、食生活についての講話と骨密度測定を含む骨粗しょう症予防教室のほか、高齢者の自宅での継続的な運動習慣獲得を目的とした「元気アップ教室」等を開催しました。また、関係課が開催する健康づくりに関する各種健康教室等で56回1,081人に啓発し、医療費の適正化や財政状況の理解を求めました。
課題	● 令和7年度における健康寿命と平均寿命の差(実績値)は、男性2.1年(目標達成率60.0%)、女性4.5年(目標達成率 63.6%)となり、目標を達成できませんでした。また、主な個別事業のうち、特定健康診査受診率について、7年度の速報値(8年3月時点)は44.1%であり、計画の目標値である48.0%を達成できていないほか、6年度の特定保健指導実施率は24.2%と、前年度比3.4ポイントの減少となり、市町村国保(全体)の目標値である60%は達成できませんでした。
今後の取組	● 引き続き、高松市保険給付費適正化プロジェクトチームを活用することで関係部局と連携し、計画に基づく各種保健事業の実施・評価に取り組み、保険給付費の上昇抑制を図ります。

基本情報

基本方針 項目分類	1-(3) ファシリティマネジメントの推進	実施項目	ファシリティマネジメントの推進
事務局	財産経営課(ファシリティマネジメント推進室)		
関係課	公共・公用施設等の建築物を保有・維持管理している全課(ただし、国の指針に基づき進められている土木・インフラ系施設部門等は除く)、政策課、財政課、建築課		

取組内容(計画策定時)

平成27年度に策定した「高松市公共施設有効活用・再配置等方針」に基づき、公共施設の複合化や統廃合、規模の見直し等を行うとともに、老朽化した施設は廃止、民間の運営が適当な施設は売却するなど、公共施設の総量削減や配置の見直しを進めます。
また、インフラ系施設を含む公共施設等の長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化に取り組みます。

実施工程(計画策定時)

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			
▶公共施設再編整備実施計画(廃止・売却等)の策定 ▶PPP/PFI手法の導入に向けたサウンディング等の実施		▶公共施設再編整備計画の見直し計画の策定	

数値目標値及び実績値

数値目標	再編整備実施計画策定済みの施設数(全69施設) 【R4実績値】27施設 【R5実績】34施設		
------	---	--	--

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	41施設	48施設	55施設	未定 (再編整備計画見直しのため)
実績値	37施設	38施設		

取組実績

目標達成度	B:60%~80%未満		
成 果	● 施設所管課との情報共有・情報提供を進めながら、再編整備実施計画の早期策定に向けた支援を行った結果、1施設において、再編整備実施計画を策定しました。(策定済38施設/全体69施設)		
課 題	● 公共施設再編整備計画の進捗管理に努め、実施計画未策定の施設所管課においては、施設の今後の利活用検討や関係者との調整に時間を要します。		
今後の取組	● ファシリティマネジメントの取組効果の早期発現に向け、公共施設再編整備計画において廃止等の方向性を定めた施設については、実施計画の策定を進めつつ、計画の推進に向けた具体的な取組を検討します。		

基本情報

基本方針 項目分類	2-(1) 利用者目線のDX化・業務改革	実施項目	デジタル化の推進
事務局	デジタル戦略課		
関係課	全課(メンバーは、庁内公募(推薦を含む)により選定された課長補佐級以下の職員、その他市長が必要と認めた市職員のうちから、市長が任命し、又は委嘱する。)		

取組内容(計画策定時)

分野ごとのタスクフォースを設置し、デジタル化に向けた庁内横断的な検討を行います。

実施工程(計画策定時)

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			
▶分野ごとのタスクフォースを設置し、デジタル化に向けた庁内横断的な検討を行う。			

数値目標値及び実績値

数値目標	全体会及び分野別タスクフォース開催数			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	20回	20回	20回	20回
実績値	46回	63回		

取組実績

目標達成度	A:80%~100%
成 果	● 3つのタスクフォースを踏まえ、6つのテーマを設置し、前例や現行制度、組織の縦割りにとらわれない検討を進めました。 ● 全体会合を5回、テーマ別の協議を63回開催し、対面形式で議論を進めていくとともに、自治体専用ビジネスチャットツールを活用し、メンバー同士が集まらずとも議論し合える環境・関係性を構築し、議論を深めました。 ● 「HPリニューアル」のテーマにおいて、本市ホームページの次期リニューアルに向けて、広聴広報・シティプロモーション課プロジェクトチームの取組を支援し、仕様書作成の基になる方向性を整理しました。 ● 「イベント集約」のテーマにおいて、地理空間データ基盤システムのバージョンアップに向けた、技術的な要件定義を整理しました。 ● 「逃げ遅れゼロ」のテーマにおいて、複数課に跨る名簿作成業務(避難行動要支援者名簿、要援護者名簿等)の効率化に向けて、フォーム導入によるデータ一元化を進める方向性を整理しました。 ● 「AI・RPAの推進」のテーマにおいて、AIやRPA活用に関する実演会の開催や情報発信を行うことで、庁内の業務効率化に向けた機運を醸成し、各課の取組を支援しました。
課 題	—
今後の取組	● 引き続き、分野ごとのタスクフォースを設置し、デジタル化に向けた庁内横断的な検討を行います。

基本情報

基本方針 項目分類	2-(1) 利用者目線のDX化・業務改革	実施項目	窓口DXの推進
事務局	デジタル戦略課		
関係課	市民課、人事課行政改革推進室、情報マネジメント課、納税課、市民税課、資産税課、市民やすらぎ課、国保・高齢者医療課、障がい福祉課、長寿福祉課、介護保険課、こども家庭課、こども保育教育課、感染症対策課、生活衛生課、健康づくり推進課、学校教育課		

※状況変化により、赤字箇所を追加

取組内容(計画策定時)

多岐にわたる窓口業務の課題を整理し、窓口DXの検討、協議を行います。
なお、令和6年度の実績報告を作成するに当たり、進捗度に応じて実施工程を見直し、数値目標を追加しました。

実施工程(計画策定時より、赤字追記)

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
▶現状の課題整理 ▶先進自治体視察 ▶窓口のグランドデザインの検討・決定	▶様式変更・フロー改善などのアナログ改革 ▶対象窓口・事務の選定 ▶ワンストップ窓口の検討 ▶窓口支援システム導入の検討	▶市民課における窓口支援システムやAI電話等の導入 ▶LINEを活用した電子申請サービスの導入 ▶令和9年度以降の窓口支援システムの導入 窓口の選定	※状況変化により、赤字箇所を追加

数値目標値及び実績値

数値目標	窓口BPRに取り組んでいる所属数			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	1	1	1	1
実績値	1	1		

取組実績

目標達成度	A:80%~100%
成果	● 市民課が主体となり、窓口DXの関係課とのヒアリングを通じて、本市の窓口における現状と課題の洗い出しを行いました。 ● 現状と課題を踏まえ、「行かない、書かない、待たない窓口」の実現を目指し、市民及び職員にとって、より良い窓口の理想像を描き、令和8年度における窓口DXの具体的な取組として、窓口支援システム、AI電話、キオスク端末、新たな電子申請サービスなどの導入について検討を進めました。 ● 令和8年度に向けた取組の具体化と並行し、市民課において、外国人住民の住民異動手続におけるオンラインによる事前申請及びRPAによる処理の自動化などの業務改革を実施しました。
課題	● 市民や職員にとって、利便性や効率性の高い窓口を実現するため、市民課での事例を関係課へと展開していくことが重要です。
今後の取組	● 令和8年度末を目途に、市民課に窓口支援システムを導入するとともに、キオスク端末や新たなレジシステムの導入、レイアウトの変更を行います。 ● 令和8年度中に、市民課において、AI電話を導入します。電話による対応を24時間365日可能にすることで、市民の利便性を向上させるとともに、職員の負担を軽減させます。 ● 更なる行政手続のオンライン化を推進し、「行かない窓口」の実現を目指すため、令和8年度中に、LINEを活用した電子申請サービスを導入します。

基本情報

基本方針 項目分類	4-(1) 市民参画・協働の推進	実施項目	「高松市災害時要援護者支援に関する手引書」改訂等
事務局	地域共生社会推進課		
関係課	危機管理課、協働コミュニティ推進課、障がい福祉課、長寿福祉課、介護保険課、地域包括支援センター、健康づくり推進課、消防局予防課、消防防災課		

取組内容(計画策定時)

手引書に記載された福祉避難所の内容を具体化する「福祉避難所運営マニュアル」の作成及び作成後の同マニュアル改訂に当たっては、防災部門や地域、福祉避難所として活用する各施設などと協議、調整する必要があることから、所要の期間を要するため、関係課との役割分担を明確化し、作成したマニュアルをもとに研修や訓練などを行い、課題等について検討を行います。

実施工程(計画策定時)

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
 ▶「福祉避難所運営マニュアル」の改訂			

数値目標値及び実績値

数値目標	プロジェクトチーム開催数 【R4実績値】1回 【R5実績値】1回			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	1回	—	—	—
実績値	1回	—		

取組実績

目標達成度	A:80%~100%
成果	令和7年度においては、「高松市災害時要援護者支援に関する手引書」、「福祉避難所運営マニュアル」等を改訂する必要が生じなかったことから、プロジェクトチームの開催実績はありませんでした。
課題	—
今後の取組	今後、災害時要配慮者への支援の取組を進める中で、手引書等の改訂が必要となる場合は、随時、プロジェクトチームを開催し、関係課と課題等について協議・検討を行います。

基本情報

基本方針 項目分類	4-(1) 市民参画・協働の推進	実施項目	地域共生社会の構築
事務局	地域共生社会推進課		
関係課	政策課、政策課地域活力推進室、広聴広報・シティプロモーション課、人事課、人事課行政改革推進室、納税課、市民税課、資産税課、協働コミュニティ推進課、牟礼総合センター、山田総合センター、仏生山総合センター、香川総合センター、勝賀総合センター、国分寺総合センター、人権・男女共同参画推進課、くらし安全安心課、市民課、国保・高齢者医療課、障がい福祉課、生活福祉第一課、生活福祉第二課、長寿福祉課、介護保険課、地域包括支援センター、子育て支援課、こども女性相談課、こども家庭課、こども保育教育課、健康づくり推進課、環境総務課、産業振興課、スポーツ振興課、住宅政策課、交通政策課、市営住宅課、消防局総務課、学校教育課、生涯学習課		

取組内容(計画策定時)

令和4年4月から実施している「重層的支援体制整備事業」を円滑に進めていくため、福祉施策の縦割りの壁を超え、包括的な形で、市民・行政・関係機関が助け合う人的ネットワークを確立するとともに、「重層的支援体制整備事業」を実施する中で出てくる課題等について検討を行い、高松型地域共生社会の構築に向けて取り組みます。

実施工程(計画策定時)

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
▶前年度実績の評価 ▶当該年度の取組内容の確認 ▶ビジネスアワード 表彰の選考 ▶新たな課題に対する検討			▶次期実施計画の策定

数値目標値及び実績値

数値目標	地域共生社会推進プロジェクトチームの開催数 【R4実績値】5回 【R5実績値】8回			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	7回	7回	7回	9回
実績値	4回	4回		

取組実績

目標達成度	C:60%未満
成果	● 国の「重層的支援体制整備事業」の枠組みを活用して、高松型地域共生社会構築事業を進め、まるごと福祉相談員や、つながる福祉相談窓口に寄せられた相談を、内容等に応じた適切な専門機関や、民間団体等のサービスにつなげるため、相談支援体制のネットワーク構築や、社会へのつながりを必要とする方への参加支援事業にも取り組みました。
課題	● 「重層的支援体制整備事業」を円滑に進めていくため、福祉施策の縦割りの壁を超え、包括的な形で、市民・行政・関係機関が助け合う人的ネットワークを確立していくことが必要です。
今後の取組	● 事業を推進していくために、プロジェクトチームで更に検討を重ね、地域共生社会の実現に向けて取り組みます。

基本情報

基本方針 項目分類	2-(3) 効果的な行政情報の発信	実施項目	高松市公式ホームページの再構築
事務局	広聴広報・シティプロモーション課		
関係課	広聴広報・シティプロモーション課、DAPPY、その他(公募)		

取組内容(計画策定時)

高松市公式ホームページが、利用者にとって、より分かりやすく、親しみやすいホームページとなるよう再構築を行うに当たり、その作業を円滑に行うため、プロジェクトチームを設置し、課題を抽出し、課題解決のための仕組み作りを行う。

実施工程(計画策定時)

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	 ▶現ページの課題の抽出・分析	 ▶新ページ委託事業者の選定及び細部の検討・構築	

数値目標値及び実績値

数値目標	プロジェクトチーム開催数 【R7実績値】 7回			
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	—	6回	6回	6回
実績値	—	7回		

取組実績

目標達成度	A:80%~100%
成果	● プロジェクトチームのメンバーと広報アドバイザーで検討を重ね、現状の課題解決につながるAI技術の活用方法を見出し、公募型プロポーザル実施用の共通仕様書に落とし込むことができました。
課題	● 市民(ユーザー)が目的のページにたどり着けません。 ● 職員が一律で、アクセシビリティに準拠したページを作成することが困難で、統一感に劣るホームページとなっています。
今後の取組	● 令和8年5月頃から公募型プロポーザルを実施し、事業者を決定したのち、8月頃から構築に向けた業者との打ち合わせ等を行っていく予定です。 ● 令和9年度(令和10年1月~2月を並行稼働期間、3月から本格運用を目指します。)

4 外部評価等による事業の見直し状況

令和6年度外部評価

No.	事業名	担当局 担当所属	判定 結果	検討 方向
1	不登校対策事業	教育局 総合教育センター	改善	改善
2	中小企業金融対策事業	創造都市推進局 産業振興課	改善	改善
3	高松ふれあいクリーン事業	環境局 環境指導課適正処理対策室	廃止	廃止
4	レンタサイクル事業	都市整備局 交通政策課	民営化・広域化	民営化・広域化

令和7年度外部評価

No.	事業名	担当局 担当所属	判定 結果	検討 方向
1	高松市学校給食における地場産農畜 水産物利用拡大事業補助金	創造都市推進局 農林水産課	改善	改善
2	高松市交通安全母の会連絡協議会補 助金	市民局 くらし安全安心課	継続	継続
3	高松市文化芸術活動補助金	創造都市推進局 文化芸術振興課	改善	改善
4	児童福祉施設賠償責任保険補助金	健康福祉局 こども保育教育課	改善	改善

Ⅲ その他

1 計画に変更のあった実施項目

(1) 計画に追加した実施項目

① 令和6年度外部評価対象事業(2事業)

分類番号	1－(2)－① (全庁的な事務事業の見直し)	担当局 担当所属	教育局 総合教育センター		
実施項目	不登校対策事業				
取組内容	不登校児童生徒の増加や多様化した要因に対応するため、一人一人の子どもたちに合わせた細やかなサポートをできるよう、人材、予算を含めた拡充を図る。				
取組内容	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	不登校対策事業の拡充策を検討	不登校対策事業の段階的な拡充を図る。			

分類番号	1－(2)－① (全庁的な事務事業の見直し)	担当局 担当所属	創造都市推進局 産業振興課	
実施項目	中小企業金融対策事業			
取組内容	中小企業金融対策事業のうち、「開業資金」融資制度は廃止の方向で見直していく一方で、創業者の創業直後の負担が軽減されるよう、他機関が実施している既存の創業融資を受けた場合に、利子補給等を行うなどの新たな支援策を検討、実施する。			
取組内容	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	新たな支援策の検討	新たな支援策の検討、 制度設計	新たな支援策の実施	新たな支援策の継続 実施

(2) 取組内容等を変更した実施項目

【基本方針1】 将来を見据えた持続可能な財政運営

(2) 財源の重点的・効果的な配分

① 全庁的な事務事業の見直し

【変更理由】

令和6年度に行政改革推進室において事務事業見直しの全庁照会を行ったものの、抜本的な事務事業の見直しにつながる内容が少なく、また、見直しに取り組む職員のマンパワー不足が見受けられた。そのため7年度からは、職員が事務事業の見直しや業務改善に注力できる時間を創出するため、執務時間の見直しについての検討を行うこととした。

なお、引き続き、各所属において事務事業の見直しを随時行うとともに、業務改善が見込めるものについては行政改革推進室等による伴走支援を行うことで、全庁的な事務事業の見直しに取り組む。

【変更前】

【所管課：人事課(行政改革推進室)、財政課】

取組内容	各所属における事務事業の見直しについて、見直し対象事務事業一覧を作成して進捗管理を行い、全庁的な事務事業の見直しの推進を図る。	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		推進	推進	推進	推進
数値目標	見直し対象事務事業一覧における見直し実施割合 【R4実績値】70% 【R5実績見込み値】100%	50%	70%	80%	100%
効果単年度		—	—	—	—

【変更後】

【所管課：人事課(行政改革推進室)】

取組内容	各所属において事務事業の見直しを随時行うとともに、業務改善が見込めるものについては行政改革推進室等による伴走支援を行うことで、全庁的な事務事業の見直しに取り組む。	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		推進	推進	推進	推進
数値目標		—	—	—	—
効果単年度		—	—	—	—

(3) ファシリティマネジメントの推進

⑩ 旧高松市民病院の在り方 【所管課:みんなの病院事務局総務課、しおのえ診療所事務局(附属医療施設整備室)】

【見直し理由】

旧高松市民病院の土壤汚染状況調査において汚染が判明したことにより追加の調査が必要となったこと、及び旧高松市民病院塩江分院(現高松市立しおのえ診療所)の建物解体設計の実施時期を変更したことにより、全体の作業工程を見直したため。

※令和8年度より、高松市民病院塩江分院は高松市立しおのえ診療所へ名称変更。

【変更前】

取組内容	みんなの病院への移転後、閉鎖状態が続いている旧病院の跡地に関し、 ①旧高松市民病院について、建物を解体する。 ②旧高松市民病院塩江分院について、建物を解体する。 ③旧高松市民病院香川診療所について、在り方を検討する。	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		①旧市民 ・土壤汚染状況調査(R5～7) ・残置物処理(R5～6)	①旧市民 ・土壤汚染状況調査(R5～7) ・サウンディング調査 ②旧市民塩江・建物解体設計(R7～8) ・アスベスト調査 ③旧市民香川・残置物処理・サウンディング調査	②旧市民塩江・建物解体設計(R7～8) ①旧高松市民の解体設計・工事については、土壤汚染状況調査の結果により工程を決定	
数値目標		—	—	—	—
効果単年度		—	—	—	—

【変更後】

取組内容	みんなの病院への移転後、閉鎖状態が続いている旧病院の跡地に関し、 ①旧高松市民病院について、建物を解体する。 ②旧高松市立しおのえ診療所について、建物を解体する。 ③旧高松市民病院香川診療所について、在り方を検討する。	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		①旧市民 ・土壤汚染状況調査(R5～7) ・残置物処理(R5～6)	①旧市民 ・土壤汚染状況調査(R5～7) ・サウンディング調査 ③旧市民香川・残置物処理	①旧市民 ・土壤汚染状況調査(地下水調査) ・サウンディング調査	②旧しおのえ・建物解体設計(R9～10) ・アスベスト調査 ①旧市民の解体設計・工事については、土壤汚染状況調査(地下水調査)の結果により工程を決定
数値目標		—	—	—	—
効果単年度		—	—	—	—

【基本方針2】 スマートな行政運営によるデジタル市役所の実現

(1) 利用者目線の DX 化・業務改革

① 行政手続のオンライン化

【所管課: デジタル戦略課】

【見直し理由】

社会全体のデジタル化進展に伴い、オンライン手続需要の増加を反映するため。

【変更前】

取組内容	マイナンバーカードをはじめとしたデジタル技術の活用や、行政手続棚卸調査によって把握した、デジタル化阻害要因の解消を行うことで、オンラインで申請可能な行政手続きの増加を図り、市民がデジタル化の恩恵を最大限享受できる行政手続きの実現に取り組む。	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		実施	実施	実施	実施
数値目標	たかまつデジタル市役所※でできるオンライン手続数 【R4実績値】110件 【R5実績見込み値】121件(R6.1月時点)	120件	125件	130件	135件
単年度効果		—	—	—	—

【変更後】

取組内容	マイナンバーカードをはじめとしたデジタル技術の活用や、行政手続棚卸調査によって把握した、デジタル化阻害要因の解消を行うことで、オンラインで申請可能な行政手続きの増加を図り、市民がデジタル化の恩恵を最大限享受できる行政手続きの実現に取り組む。	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		実施	実施	実施	実施
数値目標	たかまつデジタル市役所※でできるオンライン手続数 【R4実績値】110件 【R5実績見込み値】121件(R6.1月時点)	120件	140件	150件	160件
単年度効果		—	—	—	—

【基本方針3】時代の変化に対応できる組織力の強化

(3) 働き方改革の推進

① 時間外勤務の縮減

【所管課：人事課】

【見直し理由】

高松市特定事業主行動計画に、スマイルプランの内容を盛り込んだことに伴い、取組内容及び年度ごとの目標値について整合性を図るため。

【変更前】

取組内容	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
スマイルプランに基づき、働き方改革に重点的に取り組む。 また、職員が心身ともに健康かつ笑顔で仕事に取り組めるように、これまでの取り組みを踏まえながら次期スマイルプランを策定する。	・「意識改革」 「業務改善・長時間労働の是正」「休暇取得の促進」「多様で柔軟な働き方」について、第2期スマイルプランに基づき働き方改革を行う。 ・職員が心身ともに健康かつ笑顔で仕事に取り組めるように、これまでの取り組みを踏まえながら次期スマイルプランを策定する。	次期スマイルプランに基づき、働き方改革に取り組む。	次期スマイルプランに基づき、働き方改革に取り組む。	次期スマイルプランに基づき、働き方改革に取り組む。
数値目標 年間360時間を超える時間外勤務を行う職員数の割合（医師、派遣職員を除く。災害対応等の臨時的用務を含む。） 【R4実績値】8.9% ※減少が望ましい指標	5.0%	2.0%	0%	0%
効果年額	—	—	—	—

【変更後】

取組内容	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
高松市特定事業主行動計画に基づき、働き方改革に重点的に取り組む。 また、職員が心身ともに健康かつ笑顔で仕事に取り組めるように、これまでの取り組みを踏まえながら次期高松市特定事業主行動計画を策定する。	・「意識改革」 「業務改善・長時間労働の是正」「休暇取得の促進」「多様で柔軟な働き方」について、第2期スマイルプランに基づき働き方改革を行う。 ・職員が心身ともに健康かつ笑顔で仕事に取り組めるように、これまでの取り組みを踏まえながら次期スマイルプランを策定する。	高松市特定事業主行動計画に基づき、働き方改革に取り組む。	高松市特定事業主行動計画に基づき、働き方改革に取り組む。	高松市特定事業主行動計画に基づき、働き方改革に取り組む。
数値目標 年間360時間を超える時間外勤務を行う職員数の割合（医師、派遣職員を除く。災害対応等の臨時的用務を含む。） 【R4実績値】8.9% ※減少が望ましい指標	5.0%	5.0%	5.5%	5.5%
効果年額	—	—	—	—

③ 多様な働き方による働きやすい職場の実現

【所管課:人事課】

【見直し理由】

高松市特定事業主行動計画に、スマイルプランの内容を盛り込んだことに伴い、取組内容及び年度ごとの目標値について整合性を図るため。

【変更前】

取組内容	スミールプラン等に基づき、働き方改革に重点的に取り組み、年次有給休暇取得の促進、男性の育児休業の取得促進を図る。	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		スマイルプランに基づき働き方改革に取り組む。また、配偶者が出産を予定している男性職員等を対象とした子育て研修の実施を行う。	次期スマイルプランに基づき、働き方改革に取り組む。また、配偶者が出産を予定している男性職員等を対象とした子育て研修の実施を行う。	次期スマイルプランに基づき、働き方改革に取り組む。また、配偶者が出産を予定している男性職員等を対象とした子育て研修の実施を行う。	次期スマイルプランに基づき、働き方改革に取り組む。また、配偶者が出産を予定している男性職員等を対象とした子育て研修の実施を行う。
数値目標	①年次有給休暇取日数【R4実績値】 13.4日 ②男性の育児休業取得率【R4実績値】 34.2%	①15日以上 ②30%以上	①15日以上 ②30%以上	①15日以上 ②30%以上	①15日以上 ②30%以上
効果単年度		—	—	—	—

【変更後】

取組内容	高松市特定事業主行動計画に基づき、働き方改革に重点的に取り組み、年次有給休暇取得の促進、男性の育児休業の取得促進を図る。	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		スマイルプランに基づき働き方改革に取り組む。また、配偶者が出産を予定している男性職員等を対象とした子育て研修の実施を行う。	高松市特定事業主行動計画に基づき、働き方改革に取り組む。また、配偶者が出産を予定している男性職員等を対象とした子育て研修の実施を行う。	高松市特定事業主行動計画に基づき、働き方改革に取り組む。また、配偶者が出産を予定している男性職員等を対象とした子育て研修の実施を行う。	高松市特定事業主行動計画に基づき、働き方改革に取り組む。また、配偶者が出産を予定している男性職員等を対象とした子育て研修の実施を行う。
数値目標	①年次有給休暇取日数【R4実績値】 13.4日 ②男性の育児休業取得率【R4実績値】 34.2%	①15日以上 ②30%以上	①15日以上 ②30%以上	①15.7日 ②72.0%	①15.7日 ②72.0%
効果単年度		—	—	—	—

【基本方針4】多様な主体との連携・協働

(3) 民間活力・アウトソーシングの活用

④ 中央卸売市場水産物棟再整備の推進

【所管課：市場管理課】

【見直し理由】

事業着手に至るまでのスケジュールに変更があったため。

【変更前】

取組内容	平成27年度策定の「高松市中央卸売市場再整備基本構想・基本計画」に基づき、新たな賑わい創出に向け、水産物棟を核とした観光・交流拠点の再整備に取り組んでいる。整備手法は、PPP/PFI手法導入を前提とし、計画から設計・建設、管理運営まで経済的で効果的な事業を推進する。	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		民間サウンディング、市場関係事業者との対話、事業協力者協議、要求水準書作成等	事業者選定等	R7年度の事業者選定業務によって変動するため現時点では未定	R7年度の事業者選定業務によって変動するため現時点では未定
数値目標	—	—	—	—	—
効果単年度		—	—	—	—

【変更後】

取組内容	平成27年度策定の「高松市中央卸売市場再整備基本構想・基本計画」に基づき、新たな賑わい創出に向け、水産物棟を核とした観光・交流拠点の再整備に取り組んでいる。整備手法は、PPP/PFI手法導入を前提とし、計画から設計・建設、管理運営まで経済的で効果的な事業を推進する。	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		民間サウンディング、市場関係事業者との対話、事業協力者協議、要求水準書作成等	事業協力者との対話、場内事業者との調整、要求水準書内容精査等	事業協力者との対話、水産庁への事業申請等	事業者選定等
数値目標	—	—	—	—	—
効果単年度		—	—	—	—

(3) 中止した実施項目(単年度の中止は含まない)
なし